

**「用地活用の基本方針（案）」に寄せられた市民意見と
意見に対する市の考え方について**

「用地活用の基本方針（案）」に対する市民意見募集について

1 意見募集方法等

(1) 意見募集期間

平成27年1月26日（月）から2月24日（火）までの30日間
（平成27年2月24日消印有効）

(2) 意見募集方法

- ア 郵送
- イ ファクス
- ウ 電子メール

(3) 資料閲覧場所

- ア 市ホームページ
- イ 行政資料コーナー（市役所3階）
- ウ 各図書館

（図書館は、休館日があることから、各支所内においても閲覧できるよう対応しました）

2 意見募集結果

(1) 意見総数

60通

| | |
|------------|-----|
| ＜内訳＞・電子メール | 49通 |
| ・FAX | 7通 |
| ・郵送 | 2通 |
| ・持参 | 2通 |

(2) 意見内容（原文）及び市の考え方

別紙のとおり

なお、この意見募集は、鎌倉市意見公募手続条例に基づく意見公募に該当するものではありません。任意の意見募集であることを示したうえで、条例の手続に準じた形で30日の期間を設定したものです。頂いた御意見の内容と御意見に対する市の考え方を、平成27年3月25日から市ホームページで公表しました。

| 提出 No | 意見内容（原文） | 市の考え方 |
|----------|---|--|
| 1 | <p>本計画における「健康・福祉・子育て・青少年」などに関する行政課題を解決するという趣旨については賛同致しますが、そのための施設をこの場所に建てることには反対です。</p> <p>そもそもマンション計画に対する反対運動の動機は景観・環境保全だった筈であり、この場所は市民の通行に供する歩道の整備と緑化（公園など）以上に手を加えるべきではないと考えます。</p> <p>また、道路を挟んで向かい側に観音さまいらっしゃる、その目線とほぼ同等の高さをもつ（であろう）建物など、不敬極まりないと言わざるを得ません。</p> <p>何よりこの場所は急傾斜であり、災害時のリスクを考えれば、福祉施設の候補地として不適切であることは言うまでもありません。</p> <p>そもそも大船地域には大船消防署裏の子ども会館跡地やレイウェル鎌倉跡地もあるので、福祉施設であればそちらを検討すべきと考えます。そういう意味で、冒頭の趣旨については賛同すると申し上げました。</p> | <p>平成24年11月に、前土地所有者から「解決を図るため、公園等の公共的な土地利用を検討してほしい。」との提案があり、市としまして、この提案を受け止め、市実施計画に位置付けのある「街区公園の整備」を取得目的とする方向で公有地化の可能性を検討しました。しかしながら、公園だけでは利用価値が低く、駅に近く利便性が高いという当該地の立地や今後公園整備に要する費用に対し、十分な行政効果が期待できないこと、さらには、地域における公園の整備の優先性や行政が買取により土地を取得する合理性に市民的な理解が得られないことなどを勘案し、最終的に街区公園の整備を目的とした当該地の買取等は困難であると判断しました。</p> <p>その後、相手方から新たな提案として、「当該地を現況のまま市に寄附したい。」、「地域に貢献できる形で住民のために利用してほしい。」、「少子高齢対策など地域課題の解決に役立ててほしい。」との申出があり、これを受け協議、調整を重ねた結果、その後の土地利用に条件の付かない寄附であれば、駅に近い当該地の利便性を活かし、寄附後に必要となる管理費用等を勘案しても十分に見合った土地利用が可能であることなどから、寄附受納により当該地を公有地化する方向性を決定し、あわせて、当該地の土地利用の方向性を市総合計画の将来目標である「健やかで心豊かに暮らせるまち」の実現に向けた「健康・福祉・子育て・青少年などに関する行政課題を解決する複合的な施設の検討地」と位置づけたものです。市が公共的な土地利用を図ることができれば、市民のため、地域のために活用することができ、また、約9年間取り壊されたままとなっている市道階段の早期復旧、過去の開発行為で切り取られたがけ面の恒久的な安全対策といった積年の課題解決に向けて大きく前進することができるものと考え、当該地の立地やその後の用地活用のポテンシャル等を総合的に考慮し、寄附受納したものです。</p> <p>施設計画につきましては、基本方針（案）で基本的な方向性を示しましたが、具体的には、施設</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | | <p>建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道（バス通り）側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。なお、施設建築物の高さよりも観音様の目線の方がはるかに高いため、同等の高さになるような心配はありません。</p> <p>当該地は、土砂災害警戒区域内の安全対策を視野に入れつつ、がけ面については法令の基準に基づき、施設整備に合わせて恒久的な安全対策を図ります。</p> |
| 2 | <p>【谷戸の自然を再現するビオトープを】</p> <p>緑を残したいという住民の皆さんの想いで残った場所ですので、その意思を汲む意味でも、丘陵に刻まれた谷合の空間である鎌倉の典型的な自然である谷戸らしい環境・景観を生かし、鎌倉の谷戸の自然を再現するようなビオトープをつくっていただくことができたらと思います。鎌倉市役所の入口付近に、市民との協働で環境政策課さんが担当してつくられたビオトープがありますので、これと同じようなものを、大船地域にもつくってはいかがでしょうか。玉縄小学校の子どもたちとつくるのも良いと思います。特にこの辺りでは子どもが水辺で遊べる場所が少ないので、親水機能があると、子どもの環境学習の場としても価値があり良いと思います。大船駅の近くに緑を生かした場所を残すことは、ヒートアイランド対策のモデル的役割としても有意義となりそうです。</p> <p>【建物・施設は省エネ・自然環境との調和をテーマに】</p> <p>現在、市ではエネルギー基本計画が策定され、環境政策課さんを中心に、省エネを期したまちづくりへの努力がなされています。自然環境を大切にする市民の皆さんの想いで残された土地であることから、地球環境にやさしい施設とすることは、地域の方々や、将来世代の子どもたちにも意義あるものとなるはずで。太陽光パネルを設置する、壁面緑化をする、エコ素材を用いる、市民にできる省エネ紹</p> | <p>ビオトープなどの専用施設につきましては、現時点では導入を予定していませんが、施設建築物の周辺や屋上の広場的空間の多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>太陽光パネルや壁面緑化などに取り組んでいくことで環境にやさしい施設となり、かつ省エネにも配慮した施設となりますので、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>「広場的空間」は、幅広く市民の皆様にご利用いただける空間としたいと考えております。子どもがのびのび遊べる所とすることにつきましても、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | | |
|---|---|---|
| | <p>介コーナーを設けるなどして、市民の皆さんの省エネ・環境への意識を高めるような機能も、施設にもたせられると良いと思います。鎌倉市らしく、谷戸の自然にたたずむ和風建築のイメージとするなど、地域住民の皆さんの自然景観への思いに配慮した外観とするのも良いと思います。</p> <p>【子どもがのびのび遊べる場所に】</p> <p>玉縄の青少年会館・子どもの家は、現在かなり過密で、未就学児が学童の時間に訪れると、ボールが飛んで来るなど危険であるため、午後はあまり利用できません。学童は人数が過密である様子が見てとれ、感染性の病気がうつりやすかったり、狭い空間に何十人も押し込められていて人間関係もギスギスし、精神衛生上の課題もあるように見えます。岡本二丁目マンション跡地につくられる施設のほか、学校の校舎・グラウンドなども新たな子どもの遊び場として解放し、小学生の学童の子たちはのびのびと過ごせ、なおかつ、小さい子も雨の日や寒い日に安心して遊べるような場を、岡本・玉縄地域につくっていただくことができたらと思います。</p> | |
| 3 | <p>せっかく緑の自然に囲まれた丘の上にあるのですから、ガーデニングのプロを目指す人たちが、「風のガーデン」的なすてきな公園を作ったらいかがでしょう。そして、近隣の鎌倉養護学校、薫風園、清和園などで学ぶ人たちが野菜を栽培し、ワークショップの「カフェ」を営み、飲み物、スイーツ、軽食などを提供できたらいいですね。二階は無料塾。この地域には、かつて先生をしていた素晴らしい人材があふれています。さまざまな事情で塾へ通えない小中高生に、ボランティアとして社会貢献してはいかがでしょうか。私もその一人です。</p> | <p>野菜を栽培する場、無料塾、ワークショップのカフェなどの専用施設につきましては、現時点では導入を予定していませんが、施設建築物の周辺や屋上の広場的空間、施設内の交流スペースなどの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |

| | | |
|----------|---|--|
| <p>4</p> | <p>玉縄温泉福祉会館建設の件</p> <p>少子高齢化が進む中で今回の岡本マンション跡地活用はその受け皿として絶好のタイミングと思われる。立地条件からして大船駅に近く利便性が非常に高い。そのため以下の提案をしたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物7階建、地下2階 1フロアー600m²×65%=390m²実用面積（廊下、階段、トイレ、エレベーター等除外） 計 390m²×9=3510m² 2. 大浴場、休憩室 1フロアー、最上階。 温泉/井戸の掘削、1000m掘削すれば神奈川/東京地区では35～36度の温泉が出る。 掘削費600万～800万円/100m、地熱の関係で100m掘るごとに2度水温が上がる お台場大江戸温泉、丸の内三菱地所大手町温泉、西武豊島園温泉、東京蒲田温泉等。 高齢者/子供/地域の交流の場/健康増進の場になる。 3. 大会議室/ホール、200名収容、現在の玉縄学習センター3Fは150名収容で狭く支障を来している。 普段は3か所に仕切り使用。地域のイベント、町内会等の会議、研修に使用。 4. 防災シェルターとしての宿泊、帰宅困難者収容、備蓄倉庫の設備を備える。1フロアー。 5 子供保育園、働く母親を支援する施設。デイサービス、子育て/地域支援センター。2フロアー。 6. レストラン、パン、菓子工房の運営、障害者の働く場所を造る。作業所。一般市民も食事ができる。 地域住民の交流の場所、1フロアー。 7. 玄関ロビー、管理事務所、サロン。1フロアー。 8. 地下2フロアーは駐車場、50～60台収容、 | <p>施設建築物の規模につきましては、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道（バス通り）側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。</p> <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。これらことから、温泉施設や大会議室など大規模な施設を建設することや独立採算制の運営手法をとることは難しいと考えております。</p> <p>地下階につきましては、敷地形状や費用負担が大きくなることから、現段階では難しいと判断していますが、駐車場につきましては、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で検討いたします。</p> <p>施設利用者等の滞留に対応した防災備蓄倉庫などの設置につきましては、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |
|----------|---|--|

| | | |
|---|--|---|
| | <p>送迎用マイクロバス2台収容。</p> <p>9. 建設後BOTにより運営はNPO, 独立採算制。市民による出資、寄付、会員制、ボランティア等により運営、利用料徴収により経費節減。屋上は太陽光発電装置を設置する。</p> <p>10. 以上は相当な規模の投資、約15億円、となりますが、貴重な機会ですので、将来を見据えて思い切った決断をお願いします。</p> | |
| 5 | <p>ぜひ、施設を建設する際に、『ものづくりのためのスペース確保』を検討していただけますでしょうか？</p> <p>最近、3Dプリンタが流行しており消費者が自分でものを作る傾向になっております。ここ鎌倉市にもfablab kamakura や 辻堂のt-siteにもものづくり拠点ができているかと思えます。</p> <p>大船周辺にもそのような場所ができると、この施設に子供やものづくりのクリエイターが集い。青少年の体験教育の活性化ができる場所になるかと思えます。鎌倉も鎌倉彫など伝統的なものづくりの文化も過去には存在していたはずで、そのような場所があっても不思議ではないと思えます。</p> <p>岡本二丁目が難しいとしても、大船第二子供広場など現在使用されていない場所に、そのようなスペースを作っていただけると幸いです。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>ものづくりのためのスペースなどの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、屋外の広場的空間や施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
| 6 | <p>鎌倉駅には観光案内所がありますが、大船駅の近傍という立地特性を最大限に活かし、大船駅にはない大船エリアの観光案内スペースがあればいいです</p> <p>3歳、1歳、0歳の3人の子どもがいる親としては子育て施設はとて歓迎です。たとえば近くに玉縄子ども会館がありますが、老朽化しており、新築していただけたら嬉しいです。</p> <p>ついでに歩道の拡幅もしていただけたら助かります。</p> <p>建物の外観は鎌倉の景観に配慮した施設とのことですが、景観賞をいただけるような、鎌倉の木材をふんだんに使って洗練されたデザインを目指してほ</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>施設建築物周辺や屋上の広場的空間は、幅広く市民の皆様を活用して頂ける空間としていきたいと考えております。子どもがのびのび遊べる場としての利用につきましても、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>歩道につきましては、西口交通広場から当該施設までの歩道拡幅を行うことで、施設出入口の歩</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | <p>しいです。鉄筋コンクリートではなく木造として子供幼児が使用する施設らしい優しさと暖かみがある建物にしてほしいです。</p> | <p>行者の安全等に配慮する施設とすることを、今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>建物につきましては、景観面に配慮しながら、利用者が温かみやぬくもりを感じられる施設とすることをめざし、できる限り木材を多く使用することを、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>大船エリアの観光案内サービスにつきましては、駅近傍という立地を踏まえ、交流スペースの中で観光情報の提供を行うなど、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 7 | <p>市有地一体化の構想は、良い発想です。高齢化と女性の活躍支援は、これからますます重要性をましますから、子育て支援に重点をおいて施設をかんがえるのが将来に向かって未来志向のアイデアと思います。これとあわせて、NPO 活動で、元気な高齢者をつくることは、福祉財政に負担をかけないので、このめんどでは、今の鎌倉 NPO センターをここに集約し、不足がちな集会室問題の解消にも役立つと良いと思います。できれば、大きな浴場のある憩いの家が併設できれば、欲張りでしょうか。近所のかたがたとすれば、通路階段をすぐに、と、思われるでしょう。</p> <p>考え方とすれば、一体ですべてができるほうが、急がばまわれ、だと思えます。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。「子ども・子育て支援機能」におきましては、変化の著しい社会情勢や、多様化する子育て世代のニーズに対応し、子ども・子育て支援をより充実させることを目標に、「市民活動支援機能」におきましては、市民活動の場を拡充し、支援体制を強化していくことで、鎌倉の市民活動支援をより充実させることを目標としております。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>市道階段の復旧につきましては、積年の課題であり、基本計画策定後にできる限り早期に具体化を図ってまいりたいと考えております。</p> |

| | | |
|----------|---|--|
| <p>8</p> | <p>永年放置されていた、岡本二丁目マンション計画跡地が、所有者のセコムホームライフ（株）様から鎌倉市に寄付されたことに感謝を申し上げたいと思います。また、我々市民に意見を述べさせて戴く機会を与えてくれました鎌倉市に感謝申し上げます。</p> <p>某新聞の湘南版によりますと、面積1984.65平方メートル（601坪）と掲載されていました。施設を構築する場合、有効面積がどの程度か解りませんが、仮に50%とした場合には、300坪になり、かなり大きい施設の構築が可能だと思います。</p> <p>例えば、内容としては、多目的ホール、体育館、カルチャー室、会議室等を収容可能な[ビル3～4階建て]、運営、維持管理等は事前に市と市民、そして、コンサルタントにより議論、協議して、計画案作成、施工、運営へと進向されることを望みます。</p> <p>追伸 施設の名称は、鎌倉市民が自由に楽しく利用出来る「鎌倉市民センター」とし、大船駅近くの利便性のよい土地ですから、市民に還元し、市民が楽しく、そして、市民の生活の一環として、役立たせて戴ける様、切にお願い申し上げます。</p> | <p>施設建築物の規模につきましては、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道（バス通り）側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。</p> <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。こうしたことから、多目的ホール、体育館などの大規模な施設につきましては、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>なお、施設の運営、維持管理の方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| <p>9</p> | <p><u>（１）～（２）の考え方について提案意見下記します。</u></p> <p>（１）導入機能に関しては結構だと思うが、やや総花的過ぎないか？</p> <p>③の交流機能に関しては②の市民活動の一部として組み入れた方が良いでしょう</p> <p>（２）土地利用については特に問題ないと思うが、周辺環境とのマッチングの為に緑化を十分施して欲しい</p> <p>（３）複合的な施設とは、具体的には保育所・養護施設等の子育て福祉機能並びに学習センター・NPOセンター等の市民活動機能の両方に活用できることをイメージしているのか余り良くわからない。</p> <p>川沿いにある玉縄交流センターと同じような機能だとダブってしまうのでは？</p> <p>一現存する機能施設の中で、具体的にこの新複合施設で活用支援しようとしている機能を列記すべきでは！新たな機能の創設はその旨記載</p> | <p>当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえて、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや、周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていきます。</p> <p>当該地では複合的な施設を考えておりますが、導入機能につきましては、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」とし、3つの機能が、それぞれの役割を果たしながら、有機的な複合化により相乗的な効果を生み出し、相互の機能を高めることで、「子ども・子育て支援」がより一層充実し、また、様々な行政課題の解決に市民力・地域力の活用が図れるような施設としたいと考えております。</p> <p>なお、財源確保や事業化の手法につきましては、国庫補助制度の活用や民間の活力の導入も視野に入れ、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>鎌倉市公共施設再編計画は、今後の本市の公共</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>—</p> <p>(4) 実現方法</p> <p>現在、市として取り組んでいる公共施設再編計画では既存施設の削減・集約化によってコストを減らすことに専念し、新規箱モノ施設は作らない方針では？</p> <p>本当にここに複合施設を新規に設置することを実現させる為には、市が無償で民間等から譲り受けた数多の跡地の各種資産を財源不足と言って手つかずに手をこまねいて現状（野村総研、JR等々）から鑑み、財源の具体的確保をどうするかが先決事項でしょう。</p> <p>公共施設再編の中で、不要となった施設資産を民間に売却して得る資金を特別に充当すること等を早急に考えるべきです（例：レイウエルの早期売却による資金化等）。</p> <p>又、今後検討される玉縄地区における公共施設再編計画の具体化の中での位置づけも当然必要でしょう。</p> <p>地に足を付けた実現の為の具体策を考えねば、いつまでたっても実現不可では？</p> | <p>施設のあり方を示したマスタープランであることから、岡本二丁目用地活用の計画は、この公共施設再編方針の考え方を踏まえ計画策定をしています。しかしながら、基本計画策定後に内容変更が生じた場合などは、関係部局と協議を行いながら、再編計画の中での位置付けを改めて整理してまいります。</p> |
| 10 | <p>鎌倉の顔ともいえる場所が荒廃していましたが、改善される見通しとなったことをうれしく思います。</p> <p>友人たちからも「あそこは何だ。駅の隣接地が荒れ放題の上、危険ではないか」とよく言われてきました。必ずしも歴史的街路ではありませんが、鎌倉のイメージに拘わる（市政が問われる）問題だと思っておりました。</p> <p>ここは大船周辺でも貴重な高台で、下から見上げると桜の木が茂り、ちょっとした広場もあるように思われます。急斜面からなる土地という制約条件はあるものの、この界隈では得難い高台であり、貴重な土地空間だと思います。</p> <p>市の基本計画に云う「健康、福祉、教育にかかわる建物を、また駅前という立地条件から玉縄地区以外の市民も利用できるようにしたい」に全面的に賛成です。</p> <p>ただお願いしたいことは、施設（建物）が何であれ、全体の構成は台上の空間も含めてオープン型の</p> | <p>周辺どこからも通り抜けができるような姿（景観）にすることにつきましては、安全面の配慮等から慎重に対応する必要があると考えておりますが、施設建築物の周辺や屋上に広場的空間を設置する計画であり、散策や憩いの場として多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |

| | | |
|------------|---|--|
| | <p>庭園形式とし、周囲どこからでも通り抜けできるような姿（景観）にしてほしいと思います。</p> <p>施設利用によし、散策（の場）によし、眺望（の場）によし、憩い（の場）によし、通り抜け（の場）によし、となればこんなにうれしいことはありません。潇洒な小屋、小道、かわいいベンチ、水飲み場、できればトイレ（施設のトイレを開放してもよい）などがほしいです。</p> | |
| <p>1 1</p> | <p>提案 「用地活用の基本方針」に下記の配意を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども・子育て」の場として「一部屋」を確保 ・「市民活動」の場として「ものづくり指導ボランティア」の導入 <p>内容 青少年の科学技術理解振興の一層の向上に寄与することを目的として市民活動団体・鎌倉ロボット・ものづくり研究会を立ち上げた者です。</p> <p>現在、活動は市の青少年会館他の場を拝借して行っていますが、器材、教材の配備を始め青少年が集い学ぶ場として環境面含め厳しいものが有ります。</p> <p>今回「岡本2丁目マンション計画跡地」の活用にあたって鎌倉市が文化都市として誇れる環境整備の一環に青少年の科学技術の一層の振興を視野に、青少年がロボットなどものづくりに取り組み、各種器材・教材の性能や仕組みの確認等を通して科学技術の素晴らしさを発見し、楽しみ、学ぶ場として安定して活用出来る環境の形成が加味されることを望みます。</p> <p>先ずは「子ども・子育て」の場として「一部屋」の確保を提案します。</p> <p>規模は小中学校の理科教室程度を考えます。必要な器材・教材はつくる対象の具体化に伴い逐次具体化して行くものとします。</p> <p>機能は机と家庭に在るツールボックス程度を基盤にそこに携わる人々の智慧と努力で向上させることを基本とします。</p> <p>想定する姿としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教室の定期的開催 | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>ものづくりのためのスペースなどの専用施設につきましては現時点では導入を予定しておりませんが、屋外の広場的空間や、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、体験教室を開催するなど可能と考えております。今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |

- ・ものづくりに興味を持つ青少年一人一人に対応した相談
 - ・ものづくりに必要な器材・教材の使い方などの紹介
 - ・その他 ものづくり教育一般への相談
- 等の実現を目途とします。

そして「市民活動」としてロボットなど「ものづくりの指導者」として市民の活動の場の構築を提案します。

当然指導者としての教育は必要ですが、ものづくりについては十分な知識、技能を持つ高齢者も多く、高齢化社会に向けた対応として生き甲斐づくりにもなると考えます。現在多くの科学館・博物館等においてはインストラクターを一般市民からボランティアとして受け入れている所が多々あります。

付記 1

鎌倉市の現状

- ・科学館、技術系公的研究機関等が無い。
青少年が見学や、指導を受ける場が学校以外に希薄。
- ・工学系学部を持つ大学や工業高校などが無い。
科学技術を学ぶ土着の風土が希薄。
- ・青少年がロボットなどの「ものづくり」で集える環境が無い。
ものづくり大好き青少年を育む居場所が希薄。
- ・青少年が参画できる科学技術を学習できるものづくりの市民活動も希薄。

など青少年の科学技術理解振興に寄与する環境形成が他の先進都市に比較して未発達と考えます。

付記 2

青少年の科学技術振興に向けて「ロボットなどものづくり」を提言する理由

青少年の科学技術振興を図る手段として

- ・21 世紀の科学・技術の中核となる要素を内在していること
- ・多くの子供達に人気があり、教育の題材として相応しいこと

などを配意して「ロボットなどのものづくり」を中心に据えました。

この活動を行う際の基本として、参加した子供達の一人ひとりが「ロボットなどのものづくり」を通

して

- 「科学」（教科で学ぶ原理・法則 注・参照）と産業成果として生み出された数々の「技術」の関係について、自らの発想と全身を駆使して一つひとつ組立て実現させる「発見的体験学習」のもとに体得することを目指します。

（注 教科で学ぶ原理・法則・・・これを学ぶことはものづくりに際し大切である。しかし単なる暗記ではものは作れない。この解としては児童、生徒に向けた理科の演示実験などものづくりの準備として不可欠である。）

- 多様な知識、技術の習得に合わせ多くの失敗体験に基づく達成感が人格形成を育みます。
- 発表の機会を設け、効果を顕在化させ、やる気を起こさせます。
- 効果の一層の顕在化を求める努力が科学・技術への関心を高めます。

以上の効果が各地で行われた試みの成果として表れております。

更に活動の進展に伴い

- 成果物を使って競技するなどして、ものづくり体験の一層の普及と地域の子供たちの友和が図られます。
- 科学技術の最先端を子供と共に親も学ぶものづくり教室などを開催し、親子が協働して物造りに取り組む環境が生まれます。

等の実現が考えられます。

| | | |
|-----------|--|--|
| <p>12</p> | <p>「緑豊かな憩いと交流・相談の場」 子育て高齢者相談・支援、生涯学習活動、健診、障害者就労の多世代交流型複合拠点に</p> <p>今回の「岡本2丁目マンション計画跡地」は、同地をめぐって業者、行政、住民の対立があり、長い長い間、危険な空き地として放置されてきた土地です。その荒涼とした風景は対立の深さや巻き込まれた人々に与えた痛々しい爪痕を印象付けてきました。</p> <p>そうした対立の末に寄贈された土地。だからこそ人々にとって「安全で役に立ち、ホッとするようなあたたかい公共の場になってほしい、と心から願います。</p> <p>同地はJR大船駅から徒歩1分、バスセンターにほぼ隣接し、近くに有料駐車場、駐輪場もある交通の便もよい好立地。学校、病院、子育て世代を含む幅広い年齢層の住宅地である玉縄地域のまさに中心です。駅前に福祉的公共空間がない・立ち止まれる場所もない地域にとっても、不足する福祉的拠点、生涯学習の場が必要な鎌倉市全体にとっても、対立を超え、思いを同じくして緑を保ち、オープンでクリーンな「人々の役にたつ活用」を考えるべき場所ではないでしょうか。</p> <p>これまでのいきさつからも階段を復旧し、がけ地の安全性を確保するだけの無骨な擁壁と雑然とした緑として放置してよいものではないのです。少数が場所を独占する閉鎖的な利用より、景観を保存し安全性を確保したうえで、多世代の市民が短時間でも憩い、相談し、交流する開放的な場としての活用が望まれているのです。</p> <p>こども・子育ての相談を受け個人的な事情に寄り添ってサービス利用のアドバイスをする子ども版地域包括支援センター。一時保育を重点的に行う保育園。高齢者のよろず相談を受ける地域包括支援センターのサテライト（支部）。同時にバスなど公共交通機関利用者や住民が待ち時間や待ち合わせ等で立ちよって利用できる障害者の働く緑が見えるカフェ。老朽化した青少年会館に替わる生涯学習の場、健康診断会場。いざというときの防災備蓄倉庫。それらを内包する擁壁を兼ねた複合的な建物と手入れされ</p> | <p>周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや、施設整備に合わせて切り取られたがけ面の恒久的な安全対策等を図ります。</p> <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。保険センターや地域の相談室などの施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、一時預かり保育につきましては、ターミナル駅（交通結節点）「大船駅」の近傍という稀有な立地特性を最大限に活かし、地域に関わらず広域エリアからの市民利用ができる施設として優先度が高いと考えており、認可保育所の中に含む機能として導入することについて、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>また、防災につきましては、災害発生時等に備え、施設内に施設利用者等の滞留を想定し、防災資機材等を保管できる場所を確保することについて、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
|-----------|--|--|

た緑のある駅前広場。建設の入札はオープンでクリーンに、運営は行政のサポートを受け、地域やそれぞれの分野で強みを持つ市民自身や企業が連携し合って行う鎌倉モデルになるべきでしょう。

実用的で「緑豊かな市民の憩い・交流・相談の場」、なにより対立から和解、融合のシンボルとして鎌倉の新しい緑と福祉と生涯学習活動の拠点を設置すべき土地なのです。

どうぞ地域と鎌倉市全体のために施設を統廃合しながら官民で力を合わせて、ここで「緑地+建物」両方の生きた活用をはかっていただきたく希望いたします。

【子ども・子育て支援拠点として】

■地域の相談室として

●子ども版地域包括支援センター

子育てで最も支援が不足していると言われているのは、未就園の0, 1, 2, 3歳児の親子です。社会や行政と接する機会も少なく、子どもも小さく問題を抱えていても見つけにくく、相談の窓口も散在し、情報が集約されないため支援も行きとどかないのが現状です。

そこで親子や家庭の個別の課題に寄り添って支援サービスや制度を紹介する「ケアマネジャー」のようなコーディネーターがいる窓口、国が進める地域包括の子ども版（相談、情報の集積・発信窓口）を設置します。メディアスポットを民営化し強化することで地域に即したサービスを紹介し情報を発信します。

さらに0, 1, 2, 3歳の未就園児を中心とした幅広い相談、子育て支援サービスのマッチング窓口とします。（子育て相談窓口→助成対象）（将来的に利便性の悪い子育て支援センター等の統合を視野に。）

■一時保育、保育園として

現在玉縄地域では岡本保育園のリニューアルによる定員増、フラワーセンターの苗ほ跡地の保育園設置の予定があります。地域としての待機児童はこれで解消される見込みで、市内全域としては若干の待機児童が出る可能性もあります。一方、0, 1, 2, 3歳の未就園児を中心に一時保育の需要は非常に高い状態です。こうしたことから鎌倉地域からでも交

通の便が良い同地に一時保育に重点を置いた保育園を設置し、母子センターと合わせて鎌倉市全体の子育てを支援する拠点とします。

【保健拠点として】

●保健センター（保健事業の会場）

現在、鎌倉市には妊婦や乳幼児健診、予防接種、相談窓口など母子福祉の恒常的な会場がありません。一般健診の恒常的場所も言うまでもなくありません。現在は利便性の良くない施設や生涯学習センターなどを一時的に借りて会場としてきたため、設営側も利用者も著しく不便でした。今回の場所なら母子保健事業の会場として大船はもとより鎌倉駅側の親子にとっても利便性も向上します。また一般市民の健診場所としても大いに便利になり、保健的な相談窓口にもなるでしょう。利便性の良い同地なら、がん検診などの保健事業は利用率も向上するものと思われま

【高齢者相談・支援ランチとして】

■地域包括支援センター・ランチ

鎌倉市は少子高齢化のまち。何といても高齢者が多く、そのほとんどが在宅です。支援を必要としているか、要介護かどうかにかかわらず、気になること、相談ごとを話せる場が必要です。そこで現在、週1回程度行政センター内で実施している高齢者のよろず相談室（地域包括支援センター）をこちらで常設し、地域包括のランチとしたらどうでしょうか。交通の利便性の良い同地なら高齢者でもその家族や周辺の現役世代でも気軽に立ち寄れます。福祉サービス拠点なら、行政との連携も多様な福祉サービスの活用もスムーズにいくことでしょう。（地域包括のランチ→助成対象）

【多世代交流、情報交換拠点として】

■障害者がはたらくコミュニティーカフェ

□子育て世代からお年寄りまでが利用できるカフェ。バス待ちやちょっとした打ち合わせに。生涯学習活動や相談の帰りに気負わないで立ち寄れる交流スポットを設置しましょう。窓から見える豊かな緑地の景観を生かして。

- 由比ヶ浜の「ジャックと豆の木」や特養老人ホーム内「カフェふれんず」のように障害者就労支援法人が運営する障害者が働く地域カフェ。
- 0、1、2歳（よちよち歩き）児が使える子どもスペースの設置。少しの間、子どもを見ながらでも親が一服し、情報交換ができる場所に。
- 車いすや杖でも座りやすい設定にして高齢者が外出中に小休止できるスペース。
- カフェのスタッフや支援者が利用者の様子を見守る。何か困りごとを抱えている人を見受けられれば子ども版地域包括、地域包括ランチと連携していく「場」の設置が必要です。

【市民の生涯学習活動拠点として】

■生涯学習の場

鎌倉市では生涯学習が盛んです。玉縄も含む学習センターはどこもほぼ満杯状態。また生涯学習の場としても活用されてきた玉縄青少年会館も老朽化が懸念されています。そこでNPOかどうかや地域、年齢層を限定しない、市民みんなが使ってふれあい緑地もある生涯学習活動の場としての活用が求められています。交通の便も良く駐車場も近隣にあるため、市全域からの利用も可能です。

■駅前緑地（防災の地）

首都圏では待ち合わせや憩いの場として小さくても緑のある公園の重要性が指摘されています。それは年齢に関係なく利便性の良い場所での憩いの場であるとともに、防災備蓄場所、災害時の退避場所、火災の時の不燃地帯、復興時の物流拠点としての活用を見越した緑だからです。同地も駅前型としてこうした活用が可能です。非常の際、地域住民やバスセンター利用者の安全に寄与できるものと考えます。

基本的な考え方

小グループによる長時間・固定的利用より開放的、一時的な利用

■保育に関して

●保育園就園率の限界 30%以上のところはめったにない。待機児童も少ないことから、保育園は小規模にとどめ、一時保育に重点を置く。（定員割れを指

摘される可能性)

●新たな子育て支援施設ができることで保育園の定員割れが懸念されることから、運営状況の芳しくない保育園は支援、指導を強化。入園制限など考慮（藤沢式）を。

●保育園より高齢者対策が急務（ただし入居より在宅対策）

●同地でやるべきは入居や居場所事業より相談事業

●病児、病後児保育は小児科診療所内で行う（鎌倉ファミリークリニックが対応可能）。新規保育園設置の際に現在の病児病後児保育施設は廃止を。

●学童保育や子どもの遊び場は学校内に民営化して設置、という方向で（横浜や逗子のふれあいスクール参照）。学校外に施設設置をすると今後の量的拡大や質の充実に追いつかない。

●保育園、こども園は駅から近いところを、特養は閉鎖的な住居であるところから、駅から遠くても十分な床数を確保。地域住民にも開放しうるミニバスで職員の通勤を支援。（地域住人の利用も可能にすれば、住民との軋轢も減少する）。

■生涯学習に関して

●青少年会館（＝生涯学習施設ととらえる）に替わる生涯学習や憩いの場が必要

●対象は絞らず。運営は民間で。

■緑地保全に関して

●駅前の公園という感覚で緑を管理

●雨天でも憩いや安らぎを提供できる建物が必要

■障害者の運営するコミュニティーカフェに関して

●障害者が実際に働ける場が必要

●「ジャックと豆の木」「カフェふれんず」「レスカル」「茶らら」等は障害者の働くコミュニティーカフェ。「ふれんず」がレストラン。「バニー」「れざみ」はお弁当店。参照

■在宅高齢者対策として地域包括支援センター・ランチ

●センターそのものを設けるのではなく、ランチとし、行政センターに週1回程度設置しているものをモデルとする。

| | | |
|------------|--|--|
| <p>1 3</p> | <p>(1) 基本的考えとして、市民の趣味娯楽のための施設でなく、小児化、高齢者に対応した全市民的な施設であること。</p> <p>(2) 具体的に必要な機能、役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度からスタートする「地域包括ケアシステム」で設置が求められる地域コーディネーターの拠点（地域包括支援センターのサブ的機能を持ったもの）。 ・高齢者の健康保持と地域活性化（要支援者にならないため）に役立つ機能（授産機能）。 一例えば古くから伝わっている地域の技能文化（鎌倉彫、竹細工、古布利用細工など） ・小学生の学童保育（4月から市が基準を作り責任を持って取り組むことになる）に関する役割、機能 ・子ども（含む幼児）の全市を対象とした保育に関する相談指導と終日（含土日祭日）子ども診療の役割（特に緊急対応）。 ・土地の利便性を考え災害時における情報、支援の拠点機能 ・福祉、介護などに関するボランティアや非営利活動の支援拠点の役割。 ・研修、会議用の部屋 分室化が出来る大きな部屋（例えば2～300名収容可能）。 | <p>導入機能につきましては、「喫緊の必要性」、「立地の必然性」、「複合化・集約化による有効性の3つの基準」と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>研修や会議室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、学童保育につきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、子ども会館、子どもの家は小学校の建替え等に合わせ小学校に複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>災害時における情報、支援の拠点機能につきましては、災害情報収集、伝達、発信機能等を備えた場となるよう、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| <p>1 4</p> | <p>用地の位置づけとして、「子育て」が入っていることに嬉しく、また新施設に期待しております。</p> <p>会として、以下の要望を提出させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が自由に使える会議室の設置 ・子どもを預かってもらえる託児室の設置 ・利用者のための駐車場設置 <p>私たちは自然の中で仲間と共に子育てをしたいという母たちの集まりのもと、24名プラス保育者2名で活動をしています。</p> <p>自主運営のため子どもを預けての毎月1回の会議は不可欠で、長年にわたり「かながわ女性センター」（藤沢市）での会議・託児を行ってまいりました。</p> <p>しかし2014年12月の閉鎖に伴い、現在、鎌倉中央公園の管理棟の一室をお借りして会議を行い、</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>OBの母たちに梶原子ども会館にて託児をしてもらっています。</p> <p>ただ、毎月の会議室の確保、経験豊富な母とはいえプロの保育士ではないこと、また託児スタッフの人員確保、会議室と託児場所が離れていること、など問題を抱えております。</p> <p>今後も充実・安定した活動ができるよう、ぜひ新施設に会議室・託児室の設置を希望いたします。</p> <p>また雨天時など、子どもを抱えての移動が困難なこともあるので、駐車場も希望いたします。</p> | <p>車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 15 | <p>新しい施設の開設で多くの市民が鎌倉市の具体的な取り組みに注目しています。他市、他県へ堂々とアピールできるような鎌倉市の子育て支援の軸事業となる施設となることを期待しています。</p> <p>以下要望です。</p> <p>① 市の次世代育成きらきらプランにおいて主要事業とされている青空自主保育の活動の支援の一環となるものとして以下の設備を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一時預かり機関を併設した集会室 ・駐車場 <p>② 子どもの居場所となる空間を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強、談話など多様な利用ができる（できれば子ども対象）の飲食可能なスペース。 <p>小中学生が自習したり、ゲームをしたり、自由に歓談できる場所が鎌倉市にはなく、コンビニなどで集ったり、図書館に集まり注意されている姿があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの野外活動ができる広場 <p>野球やサッカー、バスケットなどできる広場がありません。十分な試合ができるほどではなくても音を気にすることなく、体を動かし、声を出して遊べる場所が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児親子が集える空間 <p>危険を呼び、小人数しか利用できない遊具を設置するのではなく、少しの屋根、水場、草木やできたら起伏のある築山があるようなこじんまりとした公園。</p> <p>街区公園は幼児親子は特に屋根がないことに困惑しています。強い日差し、雨などを避ける場がないので赤ちゃん連れで兄弟を遊ばせるには</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>計画している施設内では、野球やサッカーをすることは地形や施設規模、利用者の安全確保の観点から難しいと考えておりますが、施設建築物の屋上で広場の空間の整備を計画しており、子ども達が体を動かして遊べる場所や、幼児親子が散歩できるような場として多様な利用形態が可能となるよう、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>逃げ場がありません。危ない遊具も子どもから目が離せません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後支援の市民活動事業の実施 <p>すべての子どもを対象とした放課後支援事業を展開する市民団体の事業を実施してほしいです。市民の声が生きる鎌倉市の新しい取り組みを発信する施設を希望します。</p> | |
| 16 | <p>「意見」</p> <p>この問題は、足かけ10年にも及ぶ鎌倉市最大の不祥事である。これまで市は、土地所有者からの申し出により、購入か、借地かによる公園を作ろうとしていたと聞かすが、断念した。寄付で土地取得をしたからには、公園にする</p> <p>コストが少なくなるのに、なぜ公園にしないのか。寄付を受けた後に、建物利用に変更したのかが、わからない。何故、急いで建物建設による土地利用を決めようとしているのか、説明を求め。急ぐ理由はなんですか。</p> <p>市民への意見募集には、市民に対してなぜ建物なのか説明し、そのうえで意見募集をすべきである。</p> <p>それをしない以上、条件を付けないで新たに土地利用の意見募集をすべきです。</p> <p>この問題は、重要な問題であるのに、正式な条例による意見募集をせずに行う理由は何か。市民が出した意見に回答もしないのか。おかしなやり方ではないか。</p> <p>私は、岡本二丁目マンションに反対した「市民会議」に寄付をし、運動にも参加した市民です。</p> <p>市民会議の目的は、マンション建設に反対し、緑と景観を守ることでした。司法による開発中止が決定した後は、市道の回復が、市民会議の願いでした。市民の願いを聞かないで、建物をなぜ建てるのか。</p> <p>何故建物かの説明がない以上、土地利用に対して無条件で新たに意見募集を求め。</p> <p>市は、少子高齢者の施設を作る考えだが、この土地は急斜面であり、災害警戒地区に指定されていると聞く、子供や高齢者が災害避難時に避難できるのか不安です。また、がけ地に対する防災対策に多額の工事費がかかるので反対する。</p> <p>私は、市が、一日も早く市道の回復を行い、その後</p> | <p>平成24年11月に、前土地所有者から「解決を図るため、公園等の公共的な土地利用を検討してほしい。」との提案があり、市としましても、この提案を受け止め、市実施計画に位置付けのある「街区公園の整備」を取得目的とする方向で公有地化の可能性を検討しました。しかしながら、公園だけでは利用価値が低く、駅に近く利便性が高いという当該地の立地や今後公園整備に要する費用に対し、十分な行政効果が期待できないこと、さらには、地域における公園の整備の優先性や行政が買収により土地を取得する合理性に市民的な理解が得られないことなどを勘案し、最終的に街区公園の整備を目的とした当該地の買収等は困難であると判断しました。なお、買収にあたっては、土地所有者等が安全対策工事を実施することを条件としていましたが、土地所有者が計画する安全対策では擁壁の位置・構造から有効な利用が困難となる計画でした。</p> <p>その後、相手方から新たな提案として、「当該地を現況のまま市に寄附したい。」「地域に貢献できる形で住民のために利用してほしい。」「少子高齢対策など地域課題の解決に役立ててほしい。」との申出があり、これを受け協議、調整を重ねた結果、その後の土地利用に条件の付かない寄附であれば、駅に近い当該地の利便性を活かし、寄附後に必要となる管理費用等を勘案しても十分に見合った土地利用が可能であることなどから、寄附受納により当該地を公有地化する方向性を決定し、あわせて、当該地の土地利用の方向性を市総合計画の将来目標である「健やかで心豊かに暮らせるまち」の実現に向けた「健康・福祉・子育て・青少年などに関する行政課題を解決する複合的な施設の検討地」と位置づけたものです。</p> |

に公園を造るように求めます。

土地所有者から、この土地を「少子高齢対策など地域課題の解決のために役立てほしい。」などの申出があったことに加え、寄附受納後、鎌倉市岡本二丁目260番2の市有地を含め一体的な土地とし、建築物を含む施設用地として活用することについて、土地所有者の理解を得られたことから、市の「4つの考え方」の「建物等を目的とした利用は考えない。」との方針については、再考することとし、この意向に沿った形で土地利用を進めていくこととしました。したがって、寄附を受けた後に、建物利用に変更したものではありません。

市が公共的な土地利用を図ることができれば、市民のため、地域のために活用することができ、また、約9年間取り壊されたままとなっている市道階段の早期復旧、過去の開発行為で切り取られたがけ面の恒久的な安全対策といった積年の課題解決に向けて大きく前進することができるものと考え、当該地の立地やその後の用地活用のポテンシャル等を総合的に考慮し、寄附受納したものです。

今回の岡本二丁目用地活用の基本方針（案）に対する市民意見募集は、あくまでも限られた市所有地の土地利用計画であることから、市民意見公募条例の対象とはなりません。しかしながら、これまでの経過を踏まえ、条例に基づかない任意の意見募集ではありますが、条例規定の趣旨に鑑み、より丁寧な対応とするため、意見募集期間を30日にするなど、条例に基づく手続きに準拠した形で行いました。

また、ご意見を頂いた方に直接、個々に市の考え方をお示しすることはいたしません。一つひとつのご意見にできる限り丁寧に答える形で、ご意見に対する市の考え方を述べさせていただきます。なお、ご意見の内容とそれに対する市の考え方につきましては、市ホームページ等で公表するとともに、ご意見の内容につきましては、基本計画を策定する際の導入機能、土地利用及び施設計画の検討の際の参考とさせていただきます。

公共的土地利用を図るためには、階段につきましては法令等を踏まえ、必要となる幅で間口を開けて設置する必要があり、間口を開けて階段を設

| | | |
|----|--|---|
| | | <p>置しなければ公共的な土地利用を図る段階で取り壊すこととなります。当該地の用地活用の方向性が定まらない限り、必要となる間口の幅を確定することができないことから、用地活用の基本計画を出来るだけ早期に策定することが、階段の早期復旧に繋がるものと考えております。</p> <p>市道階段の復旧につきましては、積年の課題であり、基本計画策定後にできる限り早期に具体化を図ってまいりたいと考えております。</p> |
| 17 | <p>*子供達が安心して放課後など自由に過ごせる安全な場所</p> <p>現在、玉縄小学校の学童保育の場所はスペース的にあふれていて、とても健全に放課後を過ごせる場所とは考えられません。この地区の状況や時代的にも今後ますますニーズは高まり、今かろうじて確保できている安全面すら脅かす懸念があります。</p> <p>また、子どもの健全な成長に欠かせない、外遊びが自由にできる場所が玉縄地区に限らずありません。公園は設置されていますが、ボール遊びすらできない現状を考えると、小学生が自由に遊べる場、とは言えない状況です。</p> <p>是非、プレーパークのような、緩やかな見守り体制のある広場を併設していただきたい。</p> <p>*働くママ達が安心して子供達を預けられる駅前保育園(一時預かりも可能な)</p> <p>子育て中のリフレッシュのためには、祖父母だけしか頼れないという状況では、地方出身者にとって、とても子育てしやすい環境とはいえません。</p> <p>また、働いていない親子が様々な活動がしやすいようなキッズルーム付きの会議室なども(現在は、玉縄青少年会館の和室を使用していることが多い)考えていただきたい。</p> <p>*子供も大人も老人も含め人がふれあい集える様な場所</p> <p>利用に際して、用途が限られずにフリーに立ち寄れる、集える、というスペースはこの用地が駅にも近く便利な立地と言うこともあり是非加えていただきたい要素と、考えます。利用する側から、利用の</p> | <p>施設建築物の周辺や屋上の広場的空間では、子ども達が体を動かして遊べる場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>駅近傍の立地を最大限に活かし、幅広く市民の方が集まれる場所とすることで、多世代交流ができ、子ども同士、高齢者と子どもとの繋がりが生まれ、市民の活動の輪がより大きくなることを期待しております。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況です。また地下の利用については、敷地形状や費用負担が大きくなることから、現段階では難しいと判断しています。ただし、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>仕方が広がっていくような場所になっていくことを望みます。多くの年代の人の利用を考えると、やはり駐車場は地下にでも確保していただきたいと考えます。</p> | |
| 18 | <p>「用地活用の基本方針(案)」の4、意見を募集する内容(1)～(4)を拝見しまして感じたこと等を少し書かせていただきました。</p> <p>(1) 導入機能について</p> <p>女性が社会進出するためには女性を取り巻くいろいろな面で支援等が必要と思います。「子育て中」とは決して子どもが乳幼児期の時だけではなく学齢期に達しても親にとっては「子育て中」です。一時保育、病児、病後児保育もちろん必要ですが、学齢期に達した子供たちのための「子どもの家」等の不足も市内随所で気にかかるようです。</p> <p>また、仕事を持つ女性だけが社会進出している女性ではありません。少子高齢化、核家族化など考えていかなければならない課題は多いと思います。</p> <p>しかし、「健康・福祉・子育て・青少年」と様々な行政課題の解決とのことで、縦割り行政ではなく横のつながりのある用地活用となることは喜ばしいことです。</p> <p>場所としては大船駅に近いと言う事で市民の皆さんが利用するに適した場所と考えます。</p> <p>(2) 土地利用について</p> <p>現在の土地のままからですと施設への出入り、特に乳幼児等を連れた人たちの出入りが心配されます。</p> <p>ご承知の通り、ファミリーサポートセンター事業は子育て支援に特化した事業で、事業スタートから間もなく14年になります。事業の性質上、利用者は子育て中の市民とそれをサポートして下さる同じく市民です。</p> <p>市内にセンター事務所は一か所で、開設当初は小袋谷のレイウェル鎌倉の中にありましたが耐震性の関係で現在玉縄青年会館に移転しました。</p> <p>小袋谷に事務所があった時にも少々思っていたの</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>なお、学童保育につきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、子ども会館、子どもの家は小学校の建替え等に合わせ小学校に複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>誰もが利用しやすい施設とするため、施設前面に開放的な空間を確保するとともに、西口交通広場から当該施設までの歩道拡幅を行うことで、施設出入口の歩行者の安全等に配慮する施設とすることを、今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>ですが、この事業の利用者が市内全域からセンターを訪れる事、特に子育て中の市民は概ね小さな子供を伴いセンターを訪れるためセンターの場所が限りなく立地条件の良いところ、市内全域から見て皆が訪れやすいところをかねがね望んでいます。</p> <p>センター開設から14年、世の中も随分と変化し子育てを取り巻く様々なことも変わってきました。今後も少しでも子育て家庭のお役に立てたらと考えます。</p> <p>この度の用地活用に「鎌倉市ファミリーサポートセンター」の事務所も仲間入りさせていただけるとありがたいと思います。</p> | |
| 19 | <p>1、子育てに関わる市民が集まる場所としたい</p> <p>現在の鎌倉市では、地区が区切られており、子育てや子育て支援に利用できる施設の規模が小さく、「広い場所で子どもを遊ばせたい」「雨が降っても利用できる施設が欲しい」「検診や相談、子育て支援センターなどの場所がばらばらで利用しにくい」という声が多く聞かれます。一つの場所に子育ての様々なニーズをまとめてセンター機能を持たせていただけないかと提案します。</p> <p>・子育て支援センター ・ファミリーサポートセンター ・屋内遊具ひろば ・調理室 ・赤ちゃんひろば ・子育てコンシェルジュ ・一時保育施設 ・会議室 など</p> <p>2、市民活動の拠点としてNPOセンターの設置を希望します。</p> <p>市内のNPOセンターは、あまりにも狭く使い勝手の悪い施設です。今後の協働活動の広がりも視野に入れながら、市民活動の場として利用できるように希望します。</p> <p>3、地下に駐車場を設置してください。</p> <p>大船駅に近いとは言え、乳幼児や幼児を連れて出かけるのはひと仕事です。公共交通機関を利用しようにも、鎌倉市は高齢者が圧倒的に多く、ベビーを抱えていても席を譲ってはもらえません。有料でもいいので、利用者専用の駐車場が必要です。(例：逗子市文化プラザ)</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>なお、子育て支援センターにつきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、岡本保育園の建替えに合わせ、子育て支援センター（玉縄地域新規）と複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>施設建築物周辺や屋上の広場的空間では、子ども達が体を動かして遊べる場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>4、屋上緑化広場やそれに続く山林を利用して、常設プレーパーク(冒険遊び場)を開設してください。</p> <p>鎌倉市では、かまくら子育て支援グループ懇談会と市の共催で、月に一度「一日冒険遊び場」を開催しておりますが、近隣の市では常設プレーパークが次々と開設され、幼児から高校生・地域の大人までが集える「居場所作り」の場になっています。鎌倉市でもぜひ実現させたいと思っています。</p> <p>5、江ノ島の県立女性センターが今年度で閉鎖となり、ここで行ってきた託児つきの講座や会議の場がなくなりました。ぜひ、代替の設備を作ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市内にある青空自主保育は主に7団体(今年度は約130名)ありますが、子どもを預かってもらって、保育の話し合いをする会議を月に一度開いていました。鎌倉市にはこれに代わる施設がなく、大変困っています。 ・女性のための職業講座や起業講座などにも子どもを預かってもらいながら受けられる場所が必要です。 | <p>なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況です。また地下の利用については、敷地形状や費用負担が大きくなることから、現段階では難しいと判断しています。ただし、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 20 | <p>子どもを持つ親としましては、下記を希望します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動、子どもと子育て活動で集まれる場所 ○鎌倉にふさわしい環境や景観に配慮し、緑あふれる建物、屋上緑化 ○フリーの会議スペース、地域の情報交換などのフリースペース ○子どもの遊び場、子どもの一時託児施設 ○可能でしたら、利用者用駐車場 <p>鎌倉市には沢山の自主保育団体が活動しており、建物をもたず恵まれた鎌倉の自然にかこまれてすごしています。ただ、江ノ島の女性会館の閉鎖で、月に一度の子どもを預けての会議をする場所がなくなるという問題をかかえています。</p> <p>鎌倉で育つ子ども達がこれからも安心して活動がおこなえるよう、市民の活動に加え、自主保育団体などが使える会議スペース、一時託児スペースを設けていただきたくお願いいたします。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえて、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていくことを、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子ども</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | | <p>を連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 21 | <p>① 小中学生の自習室 鎌倉の図書館には自習室がなく 自宅、塾以外で子どもが勉強できる場所があると助かります。</p> <p>② 子どもの家のように特定の子どもではなく いろんな子どもが集える場所 子どもがやりたいことをやらせてもらえる 何も無い空間（ゲームや壊されると困るようなものはおかない）</p> <p>③ 子育て中の親が話し合いや自分たちの趣味を共有できる 安い貸し部屋のような空間</p> <p>④ 子どもを安く預かってもらえる託児室がついている</p> <p>⑤ 駐車場がある。</p> <p>⑥ いつでも飲食ができる ロビー</p> <p>⑦ 自転車置き場</p> <p>⑧ 管理人さんが子育てする人に優しい 怖くない人</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>なお、学童保育につきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、子ども会館、子どもの家は小学校の建替え等に合わせ、小学校に複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>駐車場・駐輪場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車・駐輪台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>いつでも飲食ができるロビーにつきましては、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、ご提案頂いた利用も一つの候補と考えます。具体的な施設の内容や運営につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |

| | | |
|-----------|--|---|
| <p>22</p> | <p>とても良い機会ですので、市民が様々なものを持ち寄り、集まれるような場にしてもらえると良いなと思います。</p> <p>特に岡本のあたりは近傍にお茶をする場所も少なく、様々な機会に市民が集まりにくいと思います。</p> <p>私は坂本町内会に所属していますが、町内会（子供会）等で気楽に利用できる広場、集会場所があるととても嬉しいです。</p> <p>町内会のお祭り、ちょっとしたバザーが行える場所があれば助かります。</p> <p>後は、できるならば図書館のように本を読んで過ごせるような場所があると良いと思います。</p> <p>（この地区から玉縄図書館はやや距離があるので、我が家の小学生の子供が気楽には通にくいのです）</p> <p>図書の購入は費用がかかりますが、市民から寄付をつのり不要な古本等を集めるならば、あらかじめ多くの予算を費やさなくても、良い場所ができるのではないのでしょうか。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>集会所などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内外の交流機能の多様な利用形態一つとしてイベントを開催する、お茶を飲みながら過ごす場など、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>図書館のように本を読んで過ごせるような場所につきましては、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| <p>23</p> | <p><u>市民手作りのための工作室</u></p> <p>青少年からシニアまでの市民が物づくりしたいと思った時にいつでも利用できる市民のための工作室を岡本二丁目用地に作る市の建物内に設置することを提案します。</p> <p>子供たちは学業に忙しいとは云え、自ら物を作る機械は極めて少なく、またそれを育てる親もなかなか機会がないのが現状である。シニアの方々で作業をしたい方の潜在数は多く、ただ適当な場所が無いだけだと推察される。</p> <p>少しのもの作りから、子供達に興味を出させ、将来の科学の発展につながるような事に市が協力できる施設を持つことは大変に有意義だと考える。市民に気軽に作業を楽しめる場所と設備の提供が望まれる。</p> <p>以下に設備の概況と運営について列記します。</p> <p>I. 工作室の主な設備としてかなりの加工が出来る設備として</p> <p>1. 卓上小型旋盤</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>工作室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内外の交流機能の多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>2. 卓上小型木工旋盤 3. 卓上ボール盤 4. 卓上小型縦型ミーリング盤 5. 固定型電動のこぎり 6. その他木工用の子道具 7. 電気器具の製作用の道具 半田鑊等の小物道具類</p> <p>Ⅱ. 設備を十分に利用者に利用させるための助手を常時待機させる。定年を過ぎた製造の経験者等を配置し、利用者を援助・指導できるようにする。</p> <p>Ⅲ. 工作室の広さ 70平米は必要であろう。</p> <p>Ⅳ. 利用日は常時使用できるよう土日も開館する。月に二日程度の休館日は週日におくことにする。</p> <p>市内の中学校には工作室があるがまともに使われているか疑問がある。適当な助手が配置されていないか、先生が指導できないかであろう。この工作室があれば、中学の技術教育に利用することも可能になるのではないかと。</p> <p>鎌倉には物づくりを進める機運は市の運営も含めほとんど感じられない、めづらしい町だと常日頃思っている一人なので以上の提案をする次第です。</p> | |
| 24 | <p>岡本二丁目マンション計画跡地に新しく作られる施設について以下の3点を要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場を完備してください。 <p>レイウェル鎌倉にあった旧大船子育て支援センターは駐車場があり、寒い日や暑すぎる日でも乳児を連れて行きやすかったです。</p> <p>小坂子ども会館内にできた新大船子育て支援センターは駐車場がなく、近隣在住の心身ともに元気な母親しか行こうという気になれません。</p> <p>岡本二丁目マンション計画跡地は大船駅のすぐそばですが、公共の乗り物に乗れないパニック障害の母親や、子育てに疲れきり電車に乗るためのメイクすらできずにふさぎこむ母親のために、子どもを連れて出掛けるハードルを下げってくれる駐車場は施設に行こうという気を起こさせてくれる重要アイテムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共生型福祉施設（宅幼老所）の開設を願います。 | <p>敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>「共生型福祉施設」につきましては、注目すべき取り組みではありますが、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>子ども・子育て支援施設のほかに、市民活動支援機能を導入することで、子育て世代、市民活動団体、青少年、高齢者、障害者など、多世代の幅広い市民が利用できる施設としてまいります。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>宅幼老所（地域共生型サービス）とは、小規模で家庭的な雰囲気の中、高齢者・障がい者・乳幼児などに対して、ひとりひとりの生活リズムに合わせて柔軟なサービスを行う取り組みです。</p> <p>年齢や障がいの有無などの垣根はなく、誰でも通えて、介護や介助、保育を受けられるこの形態は「富山型デイサービス」とも呼ばれ、全国に広がっています。</p> <p>通い（デイサービス）・泊まり（ショートステイ）・訪問（ホームヘルプ）・住まい（グループホーム）などサービス形態は地域のニーズに応じて様々に設定できます。</p> <p>保育待機児童対策をはじめとした子ども・子育て支援は喫緊の課題ですが、少子高齢化が加速する今後を考えると子どものためだけの施設にすると将来使わないハコモノだけ残る可能性があります。</p> <p>鎌倉市も公共施設の複合化を目指していますが、これから新しく作るものはユニバーサルユース（誰でも利用できる）な施設であるべきだと考えます。</p> <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015.1.4 付け毎日新聞「一極社会 東京と地方 6 高齢者こそ主役だ 障害者・子ども見守り」 ・厚生労働省ホームページより「宅幼老所の取組について」 <p>・民間と手を組み、子どもの居場所・遊び場を作ってください。</p> <p>鎌倉市にはお金を払ってでも行きたい子育て世代に魅力的な子どもの居場所・遊び場がありません。</p> <p>私をはじめ、たくさんの親子が横浜市や藤沢市や川崎市の遊び場まで出掛けていっています。</p> <p>ぜひ鎌倉市に誘致をお願いします。</p> <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本 子育て支援事業「HAPPY CHILD PROJECT」 ・湘南モールフィル「アドベンチャーアイランド」 ・テラスモール湘南「ポーネルンド あそびのせかい テラスモール湘南店」 ・大阪府堺市「キッズサポートセンターさかい」堺市×高島屋×ポーネルンド | <p>施設建築物周辺や屋上の広場的空間では、子どもの遊び場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>なお、民間活力を利用した子ども・子育て関連施設の誘致及び将来の施設転用の可能性を考えたユニバーサルユースの施設建設をすべきとのご意見につきましては、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
|--|--|

| | | |
|----|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ポーネルト あそび場づくり 「げんきキッズパークにほんまつ」 室内あそび場 福島県二本松市 「キッズランドにしごう」 室内あそび場 西白河郡西郷村 「スマイルキッズパーク・ジュニアアスリートエリア」 室内あそび場 福島県本宮市 「四季の郷公園」 公園 和歌山県和歌山市 ほか ・グランツリー武蔵小杉「ぐらんぐりんガーデン」 | |
| 25 | <p>未就園児をもつ母親です。</p> <p>子育てに専念している期間でも、母親同士のコミュニケーションの場や自分磨き、もしくは社会復帰に向けた準備のために、自分の時間をもつことは大切だと強く思っています。さらに、子どもを安心してできる場所に預け、自分に集中する時間は、わずかであっても非常貴重ではないでしょうか。</p> <p>以前は、保育士がいる託児施設を併設した『かながわ女性センター』があったため、安心して子どもを預けて、勉強会や講師を招いての研修会、子育てに関わる会議などに参加することが可能でした。現在は、当該施設も耐震性の問題により閉鎖となってしまったため、非常に不便を感じております。</p> <p>今回の計画地は、ターミナルである大船駅からも近く、自家用車を持たない方、鎌倉市内どこからでも比較的アクセスしやすい立地であるため、ぜひ子育てに奮闘している親子のための託児併設型施設の検討をお願いしたいです。</p> <p>現在、鎌倉市内や近隣にそのような施設はありません。施設利用者限定の託児室の確保で十分だと思います。計画には、施設の他にも広場や開放的な空間もあるようですので、子ども、親、子育てに関係する様々な人が、ともにのびのびと過ごせる拠点となることを期待しています。</p> | <p>施設建築物周辺や屋上の広場的空間では、親子がのびのび過ごせるような場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |

| | | |
|-----------|---|---|
| <p>26</p> | <p>「子ども・子育て」と「市民活動」を中心にして活用することには賛同します。</p> <p>大船駅にも近く、立ち寄りやすい立地にあることから、「複合施設」として、市民の立場に立った、ジャンル・年代を超えて、誰もが利用することができる施設になれば、市民の交流の場ともなります。玉縄青少年会館の談話スペースの様子を見てみると、乳児から高齢者まで、和やかに会話をしたり、お弁当を広げたりと、とてもほほえましく感じます。</p> <p>「子ども・子育て」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、玉縄青少年会館に間借り状態の「鎌倉市ファミリーサポートセンター」は市内唯一であることから利用者が立ち寄りやすい利便性が求められています。仮の場所ではなく恒久性からも当地への移転を望みます。 ・親にとっては心強い、子ども版「包括支援センター」の設置を望みますが、行政の各担当部署との関係もあって、市役所の中にあってもいいのかもしれませんが。 <p>「市民活動」に関して</p> <p>市内二カ所の「NPOセンター」は開所当時から、その狭さが指摘されてきました。現在は、当初に比べ利用団体も増えて、飽和状態と思われます。必要な器材や会議室の使い勝手を改善することにより、より多くの市民活動団体の利用が可能となり、活性化にもつながると思います。特にNPOセンター鎌倉は年月を経過したプレハブであり、刷新の時期にあるところから、当地への移設を望みます。</p> <p>多様な行政課題を、市民も自分たちの課題として、行政と市民が対等な立場で、協働して解決に取り組むことが必要と思われます。その象徴の場とするならば、行政主導にならぬよう、市民の自主性・主体性が尊重される場所であってほしいものです。市民のやる気を引き出すためにも。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、各施設の運用・利用の方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
|-----------|---|---|

| | | |
|----|---|---|
| 27 | <p>今、青空自主保育をしていて、こどもたちと鎌倉の自然を四季折々感じながら、ほぼ毎日楽しく歩いています。</p> <p>しかし、他のお母さん方と落ち着いて全員で話し合いができる場所の確保が難しく、意思の疎通が思うようにはかかれていないのが現状です。</p> <p>話し合いや市民活動ができて、なおかつ子どもを見守ってくださる方がいる施設が鎌倉市にできると、より一層子育てがしやすく、たくさんの方が利用したい場所になると思います。</p> | <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 28 | <p>わたしは青空自主保育で3人子どもを育て、現在専任保育者として4歳児とお山を歩いています。</p> <p>この度の計画を聞き、ぜひともと思いメールいたしました。</p> <p>青空保育にここにこ会は現在25人ほどの子どもたちがいます。次世代の鎌倉をになって行く子どもたちです。幼少時代鎌倉の自然恵まれたなかで育った子どもたちは絶対に鎌倉に愛着を感じ、大事にしたいと思う心が強いと思います。子どもたちはすぐに大人になり、鎌倉の未来を作っていくことになるでしょう。</p> <p>現在、園舎を持たない活動ゆえに、母たちのミーティング、保育者の会議に大変困っています。昨年末までは神奈川女性センターがあり、保育室で子どもを預けている間に、母たちは細かい打ち合わせができました。鎌倉市にはそのような施設がなく本当に困っています。</p> <p>私たちは市からの援助もない中で、鎌倉の次世代、鎌倉が大好きになる子どもたちを育てています。</p> <p>またその親たちは積極的に市の活動、子育て支援に係わり、我が子の子育てだけでなく、他の子の子育てに力を注いでいます。冒険遊び場、梶原あそび基地、子育て懇談会、こころサポーター、各谷戸の保全活動、ファミサポ会員等々そんなパワーのある30代40代女性がたくさんいます。</p> <p>鎌倉にあるたくさんの青空自主保育はそのようなボランティア精神に富んだ親子を毎年たくさん排出しています。是非とも私たちのちいさな願いが反映されることを願います。</p> | <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>施設建築物の周辺や屋上の広場的空間や屋内の交流スペースでは、親子が気軽に使える場所など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●託児室つきの会議ができる場所。 ●雨天時に子どもたちが遊べる場所。 ●車で送迎ができる駐車スペースがある。 ●子どもと食事をしてもいいスペース。 ●おやこが気軽に使えるフリースペース <p>また中学生の子どもの母として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学生高校生が利用しやすい居場所が必要だと思います。 | |
| 29 | <p>1：青少年に対する科学技術教育の一環として物づくりの環境を備えた工作室と作品を展示するギャラリーを一体化した施設を設ける。</p> <p>2：施設にはボランティアによる指導員を常駐させ青少年の工作、物づくりの指導に当たるようにする。</p> <p>3：適時理化学実験や工作、物づくり等からなる講座の開催をする。</p> <p>4：市内小中学校の自然科学サークルの横のつながりのセンターとしての機能をもたせる。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>工作室やギャラリーなどの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、屋外の広場的空間や屋内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
| 30 | <p>大船駅に近く、とても便利な場所に建つ施設には、市民、特に子育て中の母が集まれるような場所を広く開放していただきたく思います。大船地区はレイウェル鎌倉が利用できなくなり、未就園児を持つ母が集まれる場所があまりないと聞いております。</p> <p>また、ボランティア団体や子育て団体など、鎌倉市に活気をもたらせてくれる活動をしている団体に優先的に利用できるような会議室や託児施設があるといいですね。鎌倉市には、鎌倉市が好きで移り住んできている若い家族がたくさんいます。鎌倉の自然を守ろうと、気持ちをもってボランティア活動をしていらっしゃる方もたくさんおいでです。そういった人たちの活動をつないでエンパワーメントできるような施設にしてくださいを期待しております。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |

| | | |
|-----------|---|---|
| <p>31</p> | <p>鎌倉には芝生のただっ広い公園が少ない(地形上もあり)と思うので、お年寄りから赤ちゃんまで、ゆっくりととくつろげる、芝生の広場を作って欲しいです。木があり、木陰にはベンチがありそれだけで、いいと思います。</p> <p>もう一つは、子どもが思い切り体を動かして遊べる場所。例えば、丸太のアスレチックがあってもいいと思います。</p> <p>バスケットゴールや、サッカーのゴールなども欲しいです。なかなか公園でのボール遊びが出来ないため、野外でのボール遊び場所は、青少年には必要だと思います。</p> <p>鎌倉市には、子どもが多いと思うので、子ども達のために土地活用してほしいです。</p> <p>そして、その子どもたちが、次の鎌倉市を担い、次の世代を築いていくと、思います。</p> <p>市民の希望に寄り添った、皆の集える場所になるように、お願いします。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と頂いた市民の皆様からご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>計画している施設内では、サッカーなどの球技をすることは施設規模や利用者の安全確保の観点から難しいと考えております。施設建築物の周辺や屋上で広場的空間を計画しており、子ども達が遊べる場所や、親子で散策ができるような場など多様な利用形態が可能となるよう、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
|-----------|---|---|

| | | |
|-----------|---|--|
| <p>32</p> | <p>○ 当該地は大船観音の直近に位置し、また、かつては美しい山林でもあった。市の開発許可処分に対して県審査会から違法との裁決がくだされたにもかかわらず市がなおも開発許可に向けて動いていた時に、広範な市民の反対運動が展開され、「鎌倉の緑と景観を守れ」という声が高らかに上がったことを忘れてはならない。その後「高度地区」の指定により建物の最高高さが15メートルに制限されたが、だからと言って制限いっぱいの高層建築物を計画するようなことは、(もし、あったとしたら)前述の経緯からして許容し難い。</p> <p>○ 当該地周辺は、かつて、美しい里山だった。現在は荒れているが、「岡本緑地」があり当該地の一部が「緑地保全推進地区」指定を受けていること等からして、一帯の里山整備を図ってほしい。そして当該地が、拠点としての役割を果たすことを期待する。</p> <p>○ 当該地周辺の道路は非常に脆弱である。周辺山林で山火事が起きたことがあるが、消火活動や鎮火確認が非常に困難であった。当該地の整備により人の出入りが増えると、失火等さまざまな問題も増大する懸念がある。周辺一帯の安全管理、周辺住民の救急活動、当該地の避難通路等のために、当該地の奥まで自動車(特に、緊急車両)が進入できるように配慮すべきである。</p> | <p>施設建築物の規模につきましては、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道(バス通り)側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。</p> <p>当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえて、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていくことを、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>また、周辺緑地空間との連携については、敷地内外を結ぶ散策路の整備等も検討していきたいと考えております。</p> <p>当該地周辺の道路事情の改善につきましては、当該地の奥の山際まで緊急車両等が進入できるようにすることは、現時点では地形的な制約や、敷地形状から難しいと考えておりますが、敷地内の下段部分まで進入することや、消防設備の整備により、当該施設等への消防活動は円滑に行えるものと考えます。</p> |
| <p>33</p> | <p>本件の活用に関しては、ぜひ川崎夢パークのような、子育て支援の拠点としての活用をお願いしたいと思います。</p> <p>具体例として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外プレーパーク ・屋内の飲食可能な談話室 ・託児所完備の会議室 ・防音室(バンド活動の練習スタジオ) ・乳幼児親子の集える部屋とプレールーム ・駐車場完備 | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>施設建築物の周辺や屋上の広場的空間では、子どもが遊べる場など多様な利用形態が考えられます。施設の利用方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>練習スタジオや談話室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | | <p>敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |
| 34 | <ul style="list-style-type: none"> • 土地利用の際、敷地内の緑の割合を建物総面積と同等にする。 • デザイン性に優れ子どもがいつでも立ち寄れる場所にする • 田園都市としてふさわしいもの施設にする • 土に触れられる場所にする • 学びの場所であること | <p>当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえ、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや、周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていくことで、豊かな自然環境に恵まれた、田園都市として相応しい施設となるよう今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>緑の割合につきましては、敷地内緑化や屋上緑化等を行うことで、建築面積と同等以上となるように、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>デザイン性に優れ、幅広く市民に利用される施設とするため、施設正面では誰もが気軽に入りやすく、親しみやすい形となるように今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>また、土に触れられる場や子どもたちの学びの場等として、例えば屋内外の交流機能を利用して、ものづくりや自然の体験教室を開催するなどの運用も可能と考えます。利用方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |
| 35 | <p>子ども、子育て、市民活動を中心とした施設と言う基本的な考え方は、賛成です。</p> <p>折角、1 から作るのですから、今までに無い柔軟な発想の施設を希望します。</p> <p>例えば、川崎にある夢パークの様な。</p> <p>現在、野村総研跡地で開催されている「1 日冒険遊び場」の常設化や、放課後の小学生、中学生の居場所、乳幼児連れ親子の交流の場、子どもとお年寄りの交流の場などが必要だと感じています。それと、江ノ島の女性センターにあったような託児室付きの</p> | <p>施設建築物の周辺や屋上の広場的空間、屋内の交流スペースでは、子どもの遊び場や多世代交流の場として多様な利用形態が考えられます。施設利用等につきましては、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>敷地条件からは平面的なスペースが限られてお</p> |

| | | |
|-----------|---|--|
| | <p>会議室。</p> <p>出来れば、駐車場もあった方がいいと思います。川崎の「夢パーク」は、是非参考にさせていただきたいです。</p> | <p>り、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |
| <p>36</p> | <p>市民活動をしている市民にとっては思わぬ朗報が入ったものと歓迎しています。</p> <p>意見を述べるにあたって用地における施設について、市の施政方針について私見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 建設施設について</p> <p>1) 用地の使用計画の概要として(A)と(B)の両方が建造物用地かと思いきや、(A)だけが建屋敷地ということですが将来的にも(B)には建造物は立たないのでしょうか。平屋で良いから建屋を立てることを提案いたします。平屋建てなら景観上問題は無いものと考えられます。</p> <p>2) (B)の建屋はバリアフリーでお年寄り、肢体不自由者用の施設にして、医療・団欒の場となるようにしたい。</p> <p>3) 大船駅に近いとはいっても利用者はどうしても、自家用車を使うことが多くなるので、十分な駐車場を確保することは必須条件となります。(A)建屋は屋上を駐車場とするようですが、(B)建屋は原則地下駐車場とし、動線をしっかり確保していただきたい。</p> <p>4) (A)建屋は建坪100坪位で4~5階立てとして、全容積500坪位になるかと思われませんが、200人収容位のホール、市民団体の交流のためのフリースペース、小規模イベントの部屋(10坪位で2部屋以上)、市民活動団体にレンタルする個室、工作工具、電気半田ごて等使えるテーブルタップ付工作室等が必要です。私はNPOセンターの研修部会担当理事、ものづくり研究会の理事、放射能市民測定室の理事などをしてしていますが、このような施設が出来れば講演会の会場、ものづくり教室、測定室などで苦勞することがなくなります。</p> <p>5) 何よりも「鎌倉NPOセンター運営会議(以下運営会議という)」の事務局本部をここに置けるよう</p> | <p>頂いたご意見のように、基本方針(案)では、市の関連施策や財政状況等も踏まえ、「(B)敷地を将来的に必要なが生じた場合の準備地」としておりましたが、導入機能(施設)の構成や、現状の地形を活かした土地利用を基本とする方針、工事手順、敷地条件等から段階的な整備は課題があり、施設計画の検討の中では、(A)用地を中心に、(B)用地にも低層建築物を整備する計画といたします。また、施設建築物の規模につきましては、周辺環境との調和を図るため、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道(バス通り)側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収める計画といたします。</p> <p>なお、当該施設建築物の配置等は、現段階での計画の一例であり、決定したものではありません。今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>施設設計に当たっては、誰もが使いやすい施設となるように、バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方を取入れることを、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>になることが期待できます。</p> <p>2. 市の施政方針について</p> <p>1) 市の市民活動に対する施政を変えなければならなくなります。私は事有る毎に鎌倉市にも「自治基本条例」「市民活動推進条例（以下推進条例という）」が必要だと言ってきましたが、近隣の自治体で「推進条例」が無いのは鎌倉市だけです。「自治基本条例」が無いのも鎌倉市だけと言っても良いくらいです。</p> <p>私が属している運営会議の研修部会は殆どの近隣自治体のNPOセンターを訪問して交流を深め、調査してきました。</p> <p>2) ご存知のように、「自治基本条例」は、市の憲法に相当するものであり、市長の“市民が主役”の精神を基本理念に取り入れて“主権市民”に行政が取り組む宣言をする必要があります。3本提出されている「自治基本条例（案）」は廃棄宣言して作り直すことです。</p> <p>3) 「推進条例」では市民活動の位置づけが定義されます。市長を始め、行政、市民、企業に市民活動を理解させ、より良い市民生活を送れるようにする方策を手引きします。</p> <p>4) 鎌倉市は市民活動に対して、指定管理料として年間890万円（涙金）を支給しています。近隣自治体では市役所の「市民活動課」の下に市長が任命する、例えば「市民活動推進委員会（以下推進委員会という）」があり、実質的に「市民活動課」が「市民活動センター」を運営し、「年間活動方針」を決めています。この組織の年間予算は数千万円を要します。</p> <p>5) 鎌倉市も岡本2丁目にこのような施設を作ると今迄のようにボランティアの「運営会議」に委ねる訳にはいかなくなります。「推進条例」を作り、「推進委員会」を作り、此処に「市民活動センター」を置き、「市民活動センター」を監督する体制を作らざるを得なくなります。</p> <p>6) この「市民活動センター」には新たに指定管理者を置くこととなりますが、運営会議はボランティアの集まりなので、情けないことに及び腰です。かと言って民間業者に委ねることは出来ません。</p> <p>7) 「運営会議」の下には400団体余の市民団体があります。「推進委員会」がこれを統括することは出</p> | <p>施設規模等からも、大ホールのような大規模な施設につきましては、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>工作室やものづくり教室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>本市におきましては、健全で持続的な都市経営を行っていくため、市民力・地域力の活用を位置付け、これをハード・ソフト両面から推進していく必要があると考えております。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>市民活動を更に推進するための必要な環境については、他市の事例を参考にしながら研究してまいります。</p> <p>なお、当該地における施設及び活用方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>自治基本条例の制定につきましては、具体的施策を積み重ねる中で、市民自治の確立に向けた市民意識の醸成を図り、機運の高まりを見据えながら進めてまいります。</p> |
|--|---|

| | | |
|----|--|--|
| | <p>来ないので、「運営会議」の下請け組織にすることになります。この施設の運営は「市民活動課」が行うこととなります。</p> <p>5) 鎌倉市としては早急に公募して、「市民条例委員会」を立ち上げ、「自治基本条例」を作り、「推進条例」を作って、「推進委員会」を設置する必要があります。</p> <p>6) 鎌倉市には他の自治体が羨むような、多くの善意の市民団体があり、活発な活動をしています。行政がしっかり支援する施政が望まれます。</p> | |
| 37 | <p>大船駅から至近の場所に「健康・福祉・子育て・青少年」にまつわる複合施設ができるのは大変喜ばしい限りです。現在、助産師として個人的にも鎌倉助産師会としても子育てにまつわる活動をしております。</p> <p>① 市民活動に関わる市民が活動の拠点にできるようなスペースを是非作っていただきたいと思えます。</p> <p>会議室やイベントをできるような場所が使用できるよう希望いたします。</p> <p>② 子育て支援センターやファミリーサポートセンターが駅に近いと利用者は助かると思えます。</p> <p>③ 健康・福祉・子育て・青少年にまつわる「地域の保健室」のような場所をぜひ作っていただきたいと思えます。気軽にちょっと気になることを聞ける「場所、人、仲間」があると、大きな問題になる前に解決の手がかりをみつけられるかもしれません。専門職種やピアサポートなどにつながる場を提案いたします。また、役に立ちたいと思えます。</p> <p>④ ハンディキャップがある方の自立支援の場になるような食堂や品物の販売ができるスペースがあるとよいと思えます。地場野菜を使った健康メニューを提供していただき食育の発信もしていただくとさらによいと思えます。</p> <p>⑤ 災害時は避難場所になると思えますので防災教育に触れられる場所があるとよいと思えます。</p> <p>⑥ 建物の外観の美しさは大切ですが省エネ対策はさらに重要と思えます。</p> <p>⑦ 屋上緑化広場が素敵だと思います。プレーパー</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>なお、子育て支援センターにつきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、岡本保育園の建替えに合わせ、子育て支援センター（玉縄地域新規）と複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>会議室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>地域の相談室やハンディキャップのある方の自立支援や食育などの機能につきましては、施設規模等から専用の施設を確保することは難しいと思われませんが、例えば、施設内の共用の交流スペースを使用して、相談・アドバイスなどの機会を設けることや、障害者支援を行う市民活動団体との連携により、施設周辺や屋上の広場的空間でイベ</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>クが常設されるとよいと思います。</p> <p>子どもの健全な育成、地域のつながり、異世代交流など様々な利点が生まれると思います。</p> <p>以上、希望を書かせていただきましたが、市民にとって「暖かさを感じ元気の出る場所」になりますことを願います。</p> | <p>ントを行うことなどの利用や運用が可能と考えます。</p> <p>また、市民活動団体と子ども関連施設の連携等により、防災教育の場とすることも考えられます。例えば、施設内外の交流スペースの多様な利用形態一つとして、防災に関するイベントを開催するなど、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>施設周辺や屋上の広場的空間では、子ども達が体を動かし遊べる場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>幅広く市民に利用される施設とするため、施設正面では誰もが気軽に入りやすく、親しみやすい形となるように計画するとともに、長寿命の資材を利用することや、自然エネルギーの活用など、省エネに配慮した施設としてまいります。</p> |
| 38 | <p>この用地は、「健康・福祉・子育て・青少年」などに関する機能を持ち、かつ市民活動を支援する機能を持つ施設として計画されているとのこと。</p> <p>岡本に拠点を置く子育て支援団体としては、子育て中の乳幼児親子そして子育て支援にかかわる市民団体が、常時使える場として機能するものにしてほしいと考え以下の通り提案いたします。</p> <p>① 乳幼児親子が常時来館できるスペースとして。 (現在ある子ども会館は小学生中心の施設であるため)</p> <p>② 健康・福祉・子育て等の情報を提供し相談できる場を作る</p> <p>③ この施設は、市民団体や当事者(子育て中の親・青少年など)が積極的に関わり利用できる施設にする</p> <p>④ 市民参加型で運営する施設にしてほしい(市との委託や協働事業をするためのスペースとして利用できるように)</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>当該地では、導入機能の1つとして、「市民活動支援機能」を位置付け、現在2箇所にある「市民活動センター」を集約することで、拠点機能の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>施設周辺や屋上の広場的空間、施設内に共用の交流スペースを整備し、市民の憩いの場とするほか、子ども・子育て世代の交流の場としての利用も考えております。</p> <p>また、市民活動センターとの複合化により、様々な分野の市民活動団体との交流を通じて、健康・福祉・子育て等の情報を提供できるものと考えます。</p> <p>施設の内容、運営方法等につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |

| | | |
|-----------|---|--|
| <p>39</p> | <p>何のシステムもない時代に職業を持ちながら子育てをし、今なお孫育てをしながら働き続けている者として、又、社会の課題解決にむけ、市民活動を続けている者として、この方針（案）に全体として賛成、応援いたします。</p> <p>又、市民活動団体の集まるセンター管理者として、いくつかの団体に聞きがきをいたしました。反対意見はありませんでした。実現に向け行動に移されること期待し、応援いたします。</p> <p>1の導入ですが、働く女性の悩みは、日々は保育園等入所し、問題なく生活できるのですが、何かあった時です。その時の手助けがあるかないかでは心の安定がちがいます。</p> <p>働く女性たちの中には、ラインを使いネットワークづくりをし、上手に協力し合っている人もみかけます。しかし、そういう人ばかりではありません。きめ細かいところでもサポート導入を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て女性（働く女性 専業主婦も含め）ネットワークシステムの構築 相談室の設置 <p>これも現在あるような既成の枠組では問題解決は計れません。一人一人事情がちがいます。これからは子育て女性にいかに寄り添えるかを考えていくことだと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 真に市民活動とのマッチングしたことは最高の解決策であると思えます。 <p>ケネディ元大統領の演説の名言にあるように、「これからは国に何かをしてもらおうではなく、私たちは国のために何が出来るかだ」の如く、私たちは「鎌倉市に何をしてもらおうではなく、市民として鎌倉のために何が出来るか」を考え市民活動をしています。本当の意味の「市民力」を活用することです。</p> <p>経験豊富で同じ思いで苦しみ楽しんできた子育て先輩たちとの交流の場づくりになることでしょう。</p> <p>早期に実現されますよう期待いたします。</p> | <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>本計画では、子ども・子育て支援に、より市民活動団体の力を活かしたいと考えており、きめ細かいサポート体制や、相談などのネットワークを構築する一助となるよう、施設内容や運営等につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>また、市民・市民団体が地域づくりに積極的に関わって頂けるよう、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| <p>40</p> | <p>「用地活用の基本方針（案）」に賛同します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合的施設として市民が気軽に利用できるものとして下さい。 市民又は障がいのある方等運営の喫茶スペースがあると良いと思います。 | <p>「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」のほかに、「交流機能」を導入することにより、多くの市民が利用できる複合的な施設といたします。</p> <p>「交流機能」の具体的な施設の内容や運営について</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンターが駅近くにあればと期待しています。 | <p>では、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、ご提案頂いたカフェなどの利用も一つの候補と考えますが、具体的な施設の内容や運営につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> |
| 41 | <ul style="list-style-type: none"> 戸塚駅近くの戸塚スポーツセンターの様な、心身ともに健康に楽しく役立つ施設。そして、 時代はカフェブームである様に、ちょっとした集まりやすいお茶・コーヒー・軽食のお店があって欲しい。 <p>常日頃、西口には人と会う場所が少ないとよく不満の声を聞きます。</p> <p>できたら、特色のあるおしゃれなカフェがあると、立ち寄りやすく人々が集まりやすいです。</p> <p>本数の少ないバスを待つ寒い日、暑い日のためにも、駅に近くバスターミナル横という立地は、ぜひカフェであって欲しいです。</p> <p>観音様の前なので、和風カフェであったり（チェーン店でなくて）おいしくておしゃれなら、絶対行きます。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>施設規模からも、スポーツセンターのような大規模な施設につきましては、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>施設周辺や屋上の広場的空間では、体を動かして遊べる場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、ご提案頂いたカフェなどの利用も一つの候補と考えますが、具体的な施設の内容や運営につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 42 | <p>概略：</p> <p>私の提案は鎌倉市の参照（案）に対抗するものではありません。ベースになる導入機能の「喫緊の必要性」の機能を交通・福祉・医療・学校施設の結節点である当該用地を含む地域に持つことにより横浜市・藤沢市を含む隣接市へのアクセスへの格段の改善が見られる。従来の鎌倉地域へのメインアクセスは海岸に隣接した、そして、主要交通ポイントに程遠い「疎開地」であり主要交通流のはずれに位置し年中交通混雑を招いているのが実情である。鎌倉市</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>災害時のコミュニケーション拠点の整備につきましては、当該地が、神奈川県による土砂災害警戒区域に指定されていることから、広域的な防災施設として配置する考えはありません。しかしながら、ご提案の情報関係につきましては、災害情</p> |

の準備している災害・減災の手段はほとんどが南面する「海からの脅威」への備えに尽きるとしている。鎌倉市民・鎌倉への来訪者・観光客等の災害時・緊急時の他地域へのアクセス、他地域との、からのソフト・ハードコミュニケーションはまさに他力本願である。災害時の救援等を迎い入れる手段は全て相手方にお任せの現状で、「周囲を緑の山に囲まれた地域」を「救援過疎地」にしない準備を当該用地活用の施設に「両面（表・裏）機能導入」を織り込むことが提案の骨子である。表とは：用地活用の基本方針3. 用地の位置づけに準じつつも、両面の（裏）機能に（災害時緊急時）の地域の対外・対内を含めたコミュニケーション基地として、現在の防災センターではカバーできない、していない部分についての：

1. 対内的には鎌倉市柏尾川沿いの県道北部の医療機関の災害時の救援状況医療機関に対する指示・連絡等、当該用地前の「県道阿久和鎌倉」北に展開する学校群・広く点在する、福祉医療介護・特別養老施設等への情報確認作業・鎌倉市役所等施設・災害本部等との連絡とのコミュニケーションの基地となる。
2. 当該施設は3階・4階建てが望ましい：
主たる理由は屋上に情報通信用のアンテナを設ける。災害時、そして、他の緊急な事態には当該地より隣接する大船観音寺高台の特設アンテナで関東一円とのコミュニケーションが可能である。3階の北側壁面は埋め込みの LCD 大スクリーンを設けて災害時の鎌倉地域の状態をリアルタイム状況で把握できる。それは首都圏にも速報することが出来て救援対策等につながり通常時は保育・教育の為のオープンスペースとして使用できる。
3. 平成27年2月20日に国土交通省は首都直下地震の発生から48時間以内に都心とつながるルートを東西南北の8方向で確保する「道路啓開計画」を公表しました。横浜・鎌倉地域も首都圏から延びる交通網の前にそれらを研究・活用して鎌倉地域のいち早い災害からの回復を図る手段を講じる必要がある。この「道路啓開計画」は鎌倉地域の国道134号線と JR 戦の北側の国道1号線の間「くしの歯作戦」が執れ

報収集、伝達、発信機能等備えた場となるよう、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。

非常時に必要な用途への転用、利用への備えを織り込んだ施設としておくことは、新たな施設整備を行う上で、重要な視点と考えます。今後実施する施設設計等の中で、引続き検討を行います。

避難につきましても、多方向への避難ルートの確保等に配慮します。

ご意見の趣旨につきましては、今後の計画推進の中で、参考とさせていただきます。

ない当地域の「交通道路状況」の事情であり市民・訪れる観光客に対す安全防災上のハンディキャップとなるだろう。

4. 防災・救災における最新のテクノロジーのシステムの活用：

コンピューター技術・ネットワーク技術の目覚ましい進歩と進化を昔ながらからの「方法」からの賢明脱皮をはかる試みを当該地の多面・多角利用の多目的ユニットで市民・観光客の安心安全を図れる。

ミツシヨン（役割・目的）

- * 緊急時・災害発生時における鎌倉地域の主要状態について把握し、必要必須・機関に報告し、援助その他の必要情報の獲得を図る。
- * 鎌倉地域におきていることの正確な情報を市民に届けることが出来る。
- * 災害からのすばやく、適切な復興への歩みが始められる。
- * 福祉医療施設の状況・情報の適切迅速な伝達により近隣行政機関のアクションを助け、地域に良質の情報を供給することが可能である。

* 鎌倉地域の災害時の救援活動等の情報基点を地域の上部に置き、国土交通省の首都直下地震啓開計画・「くしの歯作戦」に連動できる鎌倉地域の「作戦プラン」を作成することが望まれる。「国」・「他地域」との災害時の「交流プラン」を市民が相互理解しておくことが災害時の協働・共同連帯の効率をあげることが出来、相互の力を結びつけることにより地域に早い時点の適切・良好な活動を導入することが出来る。

災害時に鎌倉地域に「必要な情報・援助」、他地域に「供給できる連帯活動」の災害時情報センターの設置をコンピューターシステム中心に少数精鋭の部隊でオペレーション可能な、将来はロボットでの運営可能な情報基地として機能する「いざ鎌倉作戦」のスタート元年を！！

準備委員会にはいわゆる学識経験者は不要です。役に立ちません。

| | | |
|----|---|--|
| 43 | <p>子供達が遊びの制限なく（ボール遊び、火遊び、秘密基地づくり、どろんこ遊び、工具を利用した遊び道具作り）遊べる場所を作り、高齢者等地域の力を利用して子供に自然に遊びを教えられる等、地域のコミュニケーションの場として利用出来たらと思います。</p> | <p>施設周辺や屋上の広場の空間では、大きな遊具等の設置や、子ども専用の施設の整備は施設規模から難しいと考えておりますが、子どもの遊び場や高齢者等との多世代交流の場として多様な利用形態が可能となるよう、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
| 44 | <p>川崎市多摩区より鎌倉に引っ越し、現在5歳の男の子を育てております。</p> <p>初めての子育てでわからないことだらけで不安でいっぱいの時、以前住んでいた川崎市多摩区ではたくさんの託児付きの講座に出席しました。</p> <p>子どもを預けて、子育ての不安を話し合ったり、育児について勉強したりすることで、同じ年代の子どもを持つ母達と不安や悩みを共有し、とても救われました。</p> <p>そして、これから子どもを産むママ達に向けて何か発信したいと思い、そこで出会ったママ達と講座を企画をしました。講座に参加する前は、子育てだけで社会とのつながりを感じず、孤独感でいっぱいでしたが、子育て講座を受講したり、企画する側に参加することで、子育て中でも社会とつながりが持てるんだ、誰かの為になることができるんだと自信につながりました。</p> <p>子育ては正解はなく、生活なので逃げることも出来ず、お母さん達の悩みはとても大きいと思います。同じ境遇の人たちと悩みを共有することは大きな子育て支援になると感じました。</p> <p>そういう状況を共有できる機会を作ってくれたのは、いろいろな講座のおかげでもあります、使い勝手のよかった多摩区の総合庁舎の建物の存在も大きいです。</p> <p>同じ建物に地下駐車場、図書館、市民館、区役所が入っており、とても便利でした。</p> <p>子どもを預けて市民活動が出来る保育室もあり、活動しやすかったです。</p> <p>本二丁目の用地活用に望むことは、多摩区のように市民活動がしやすい場所にして欲しいということです。駐車場、市民活動が出来る会議室、調理室、保育室、体育室、和室などの場所を是非作って欲し</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と頂いた市民の皆様からご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>会議室や体育室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>施設内の交流スペース、施設周辺や屋上の広場の空間では、子どもと高齢者等との多世代交流の場として多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>いです。多摩区にあった子ども夢パークのような、赤ちゃんから中学生、高校生の子どもが集える場所もぜひ作って欲しいと思います。子どもだけではなく、赤ちゃんからお年寄りまで一緒に集えるような場所を是非作って欲しいです。子育てをしていて、地域のおじいちゃん、おばあちゃんの知恵や遊びを教えてもらえる機会があったらいいなと感じています。</p> <p>そういう機会を作れるような施設に是非していただきたいです。</p> | |
|---|--|

| | | |
|-----------|--|--|
| <p>45</p> | <p>30代女性子どもをもつ母親3人を代表してコメントさせていただきます。</p> <p>基本方針案を拝読させていただきました。建物や敷地内に緑地を計画されているところ、全体的な案に賛成します。</p> <p>① 大船観音の景観を邪魔しないことは近隣住民としても気にかかっていたので安心しました。</p> <p>② 用地全体として、世代にかかわらず自然と子どもも大人も出入りできるような建物にさせていただきたいです</p> <p>③ 緑地に関してですが、緑だけでなく、アンズなど実のなる木を植えていただくと子どもたちは喜びます。</p> <p>④ また、現在の西口バス停までの陸橋とつなげるのであればエレベーターだけでなく公園までバギーや車いすでも入れるようにしていただくとありがたいです。エレベーターだけだと、まったりするのが面倒で、ゆるやかな坂のようになっていると、散歩しながら入れますし、入口の広さも確保していただくと、階段だけより、より利便性があがるように思います。</p> <p>⑤ 病児保育施設等も検討、とありましたが、子どもを持つ親として、駅近という、特に人が集まる場所ですので衛生面を考えると、利用する可能性がある子どもを持つ親としても考えるところがあります。</p> <p>たとえば、お隣の安保小児科やしみず耳鼻科が入っているビルと連携しそのビル内に一時病児保育を設置するなど、用地でないほうが、いいのでは、との意見も出ました。全体の敷地面積も大きくないのでもう少し、検討の余地があるのではないかと思います。</p> <p>⑥ 民間のカフェなどが無い地区なので、もし、地域活性に賛同してくれる企業があれば（自社の営利目的のみでなく）入ってもいいのかな、とも思います。</p> <p>すでに、NPO や市民の方々が生涯学習センターや支所、社福法人のカフェを開いていらっしゃるのので、あえてここに同じような市民カフェが入る必要はないのかなとも思いました。</p> | <p>当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえ、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていきます。</p> <p>本計画では、大船駅西口の陸橋（ペデストリアンデッキ）と当該地を結ぶ考えはありませんが、西口交通広場から当該施設までの歩道拡幅を行うことで、施設出入口の歩行者の安全等に配慮する施設とすることを、今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>また、屋外通路につきましては、敷地形状から間口が非常に狭く、勾配もあることから、昇降設備につきましては、エレベーターや階段を考慮しておりますが、バリアフリーに配慮した施設計画となるよう配慮します。今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>病児保育につきましては、鎌倉市医師会や地域の医療機関等との連携体制の調整も含め、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>本施設を多くの市民に利用いただくための仕掛けとして、「交流機能」を導入することとしており、カフェ等の利用も一つの候補となると考えますが、具体的な施設の内容や運営につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
|-----------|--|--|

| | | |
|-----------|--|--|
| <p>46</p> | <p>岡本二丁目利用について</p> <p>(1)テーマ 子供の学び場&ママのたまり場</p> <p>(2)趣旨 薩摩藩「郷中教育」に習い、子供がこどもを育てる場としての役割をもちながらも、地域の有能者・有識者(高齢者中心)による社会体験型カリキュラムを自分の興味ある分野から自由に選択できる環境とする。 またレイウェル大船廃止により、ママたちの情報交換の場が無くなっており、その役割も必要と考えます。地域の有能者・有識者(高齢者中心)による出産・子育ての相談なども出来る。またプロの相談員も常に配備する。 ゆえに子供たちを中心にしながらも、高齢者をハブとして、ママ世代との交流も同時につなぐ。 必要以上のオトナの関与は避けながらも、高齢者との縦軸の交流を推進する文化施設としたい。</p> <p>(3)必要施設 コミュニティスペース 自然公園 総合図書館 保育園 一時保育 デイケア</p> <p>(4)注意 極端な地域団体及びNPOの幅を利かせた管理となると、大人の関与が強くなるので、バランスが重要です。 以上、だいぶ漠然とした文書で恐縮ではありますが、実際に地域のママたちや、子供たちに意見を聞き、まとめたものです。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>図書館などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |
| <p>47</p> | <p>新しい施設に要望することは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や車を心配せずにボール遊びができるスペース ・江の島女性センターのような、託児所完備の会議室 ・緑地を活かしたプレーパーク ・駐車場 <p>です。</p> | <p>施設周辺や屋上の広場的空間では、子ども達が体を動かして遊べるような場など多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | <p>子育て世代が、こんな素敵な子育て支援をしているならぜひ鎌倉に住みたい！と思えるような施設になることを期待しています。</p> | <p>今後実施する施設設計等の中で検討します。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 48 | <p>今回、岡本2丁目の用地活用についての市民の意見を聞いていただけるという事なので、子育てをしてきた経験と、現在子育てをしているお母様方見てきて、意見を述べさせていただきます。</p> <p>まず、27年度4月から実施される予定の「子ども・子育て支援新制度」では待機児童問題の解決など、働いているご家庭への支援が第一にあげられているように思います。そちらも大事ではありますが、専業主婦で子育てをしている方々の支援も考えていただきたいと思います。</p> <p>その為には新しく出来る施設には、子どもを一時的に預けることが出来る託児ルーム、セミナーやヨガ教室等を手軽に開催でき、子育て中のお母さんが、少しの間、子どもを預けてリフレッシュできる場。サークル活動などで会議をしたい場合、手軽に借りられる部屋を提供。</p> <p>子育ての相談が出来る保育士や、保健師さんの常駐。などをお願いしたいです。</p> <p>子育て中のお母さんの中にはプロフェッショナルな資格を持った方がたくさんいらっしゃいます。子育て中である為に人に教えることが出来ない方も多いと思うので、そういう方が短時間不定期でも教えることが出来、今後の社会復帰の準備が出来る場にもなって欲しいです。</p> <p>私は、子育て中、空いた時間に江の島にあります、かながわ女性センターで行っていた、エアロビクス教室に通っていたことがありましたが、女性センターは駐車場も広く、託児があり、低価格で預けられたりと、とてもよい施設だったと思いますが、現在は使用できなくなっています。それに代わる鎌倉市の施設として是非、岡本2丁目に立つ施設を活用いただきたいと思います。大船駅から近いですが、小</p> | <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>施設周辺や屋上の広場の空間、施設内の共有の交流スペースを整備し、市民の憩いの場とするほか、子どもから高齢者まで多世代交流の場としても機能するよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>さいお子さんを連れての移動は大変です。駐車場も多めに作っていただきたいです。</p> <p>鎌倉市の高齢者もどんどん増えております。子ども達とお年寄りが交流できる場としても活用いただける工夫のある施設となればどちらにもプラスとなると思います。(おじいちゃんおばあちゃんの知っている歌や遊びを子どもに教えたりする場が出来るといいと思います)</p> <p>公園等、子どもの遊び場が少ない鎌倉ですので、利便性のある立地条件を活かした、多くの子どもとその保護者が気軽に集える、素晴らしい施設ができますことを強く願います。</p> <p>これからも、鎌倉を子育てがしやすい街にする為、協力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> | |
| 49 | <p>逗子市のスマイル（第1運動公園？）のような特に遊具がなく時々プレパークが行われたりするスペースがあったり、会議室、多目的室があり幅広い世代が使えるような施設があったらいいのかなと思います。</p> <p>時々青空市場をしたりどのようにでも使えるフリースペースを希望します。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>会議室や多目的室などの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、交流機能として、誰もが自由な形で憩い利用できる空間、また青空市場の開催も可能な広場的空間等の整備を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 50 | <p>私は二人の娘を持つ父です。</p> <p>時折心とすることがあります。</p> <p>『私が子供を育てているわけではなく、子どもたちが私を親にしてくれている』</p> <p>しかし、それを実感できるのは些細なイベントのほんのひと時で、仕事に忙殺されてまた自分を見失う日々を送っております。そんな時に、子どもと触れ合うきっかけとなるような場所があればと思っておりました。</p> | <p>子ども子育て関連の諸機能に加え、交流機能の施設として、誰もが自由な形で憩い利用できる空間、市民活動を通じてイベントを行えるような空間を、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> <p>具体的な施設の運営につきましては、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>残念なことに、私たち大人はゆとりという勝手な位をつけて子どもたちを区別してしまいました。そして今の子どもたちはその弊害を無理がかかりつつあります。</p> <p>家で勉強・塾で勉強している姿ばかりを見ていると、『本当に改めるべきは私達なのではないか?』とさえ感じてしまいます。</p> <p>そんな時、この基本方針を拝見させていただき、『これこそ、大人になりきれなかった私たちが成長するための場だ!』と感じました。</p> <p>いわゆる『保育園』とは、待機児童の減少にばかり目を向けがちで、物事の本質である『預けざるを得ない私たち大人』が立ち入るスペースがどこにも見当たらないものでした。</p> <p>大人と子供の共生、そして『預けて・仕事して・迎えに行く』だけではない新しい保育。そして、駅に近く、自然に近い立地を活かした『保育』ではなく『育つための環境づくり』を切に望んでおります。</p> <p>例えば、子供が講師の『大人の学校』や、より子どもとの時間を身近に感じられるような場所づくり、雨が降ったから室内にこもるのではなく、『なぜ雨がふるのか、雨を楽しむにはどうしたらよいか?』そんなことを考えられる環境を提供することが、この岡本二丁目からできるのではないかと思います。</p> <p>大船観音が見つめる大船の街で、大人も子どもも同じようにはぐぐまれる素晴らしい活用を願っております。</p> <p>どうか、ただの保育園でこじんまりと終わらずに、未来ある子どもたちが自ら学び育つ環境をご提供ください。よろしくお願いいたします。</p> | |
| 51 | <p>1.はじめに</p> <p>資料の冒頭には、マンション跡地は、開発工事の中断が原因と記述され、その中断の理由には、県で鎌倉市の許可処分が取消された事にある、と書かれています。つぎのパラグラフで登場する鎌倉市は、冒頭における市の行政上の不始末についての大元の原因にはふれず、「課題解決のため」に貢献するという立場ですが、検討が必要となるまでの9年間の空白についても市の一端の責任分担などは脇に置き、</p> | <p>ご指摘のとおり、基本方針（案）の表紙に「昨年9月に土地所有者から寄附の申出があり、10月にこの土地の寄附を受けました。」と記載いたしました。9月に文書により寄附の申出があったものですが、基本計画におきましては、経過について分かりやすく丁寧に説明させていただきます。</p> <p>市としては、過去の間違いの原因を厳正に受け止め、改善のため開発行政に適正・適格な事務処</p> |

果ては周辺住民でさえ経過がわからなかった「土地所有者から寄付の申出」があったのも、昨年の5月頃を「9月に」といい加減とも取れる「情報」を記載している。

公募意見をまとめる際には、経過の記述についても出来るだけ正確に願いたいものです。

2. P.1「概要」について

今回の跡地は、あくまでも跡地であり、(1)から(4)まで「概要」事項を記載しているが、(3)で「土地利用規制等」については、本来、どのような性格の土地であるかを誤って判断しないよう、経過(10年前からの経緯)を含めて双方明確に記載するように要求したい。

今回の跡地の全ては、かつて「森林緑地」ではなかったか?その大半(公簿面積でなく、開発工事申請の約2500㎡の約1千㎡強)は緑地保全推進地区であったし、残りの森林だった土地も、建ぺい率60%とか、容積率200%を基準に検討することに、正当な理由は全くない。

あくまでも、接道要件を満たしていなかった過去の規制と、誤った工事が行われて土地利用が可能となった現時点を双方見比べて、その中間の適切な計画を検討するべきではないか?

3. P4 施設計画の「イメージ図」について

(ア) 図中の(A)(B)以外は、主に緑化とされており、一部道路を含むとはいえ、適切であろうと思われる。さらに(B)についても、庭園や芝生であれば、より望ましい。

(イ) 図中の(A)には、建造物が予定されているが、高さを15m以下におさえることを前提とする他に、建物により道路から車が入ってのスペースが狭すぎる様だ。さらに駐車場の設置も欠かせないと思うが、建物を減らしてでも駐車場が必要であろう。

(ウ) 入口道路は、バス道路の市道053-000号線と正しく直角に交わるように工面すべきではなかろうか?また、出入口に人を配置し安全に入退場するよう指図することも検討されたい。通行人や車の事故が起きてからでは遅い。

その他、計画の進捗に伴い、意見書を受理し、総論の中での「回答」でけっこうなので、検討結果をフィードバックされるよう、進めていただきたく、お

理を努めてまいります。

当該地は敷地の一部が「緑地保全推進地区」に指定されている趣旨を踏まえて、周辺環境との調和や景観に配慮した規模の施設とすることや周辺の緑地的空間との連続性に配慮した緑化を行っていくことを、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。

駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。

| | | |
|----|--|--|
| | 願います。 | |
| 52 | <p>健常者、障がい者関係なく多世代が交流できる場。 「鎌倉夢の丘」</p> <p>こども達が自由にボール遊びができ自然と触れ合える火遊びや泥遊びが出来る場所、高齢の方がこども達に昔の遊びなどを教える場所、昔の遊びのおもちゃや今のおもちゃに触れあえる場所（プチ遊び博物館、おもちゃは市民などからいらなくなったおもちゃなどを募集してみたり）、ファミリーファームスペース（貸し出し家族で食育意識）。トレーニングジム、音楽の練習スタジオ等（若い人の夢を応援）、IT関係スペース、常に障がいの事を学べるスペース、多目的室（地域のサークル活動スペース）等</p> <p>皆でくつろげるコミュニティースペースや銭湯や足湯も完備。</p> <p>これらが有つつ、市民の相談窓口設置、土日も機能。</p> <p>無茶苦茶だとは思いますが誰もが利用価値がある場所が出来たらと思います。</p> | <p>施設建築物の規模につきましては、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道（バス通り）側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。</p> <p>また、導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。このため、トレーニングジムや音楽の練習スタジオのような大規模な施設につきましては、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>施設周辺や屋上の広場の空間、施設内の共用の交流スペースを整備し、市民の憩いの場とするほか、子どもから高齢者まで多世代交流の場としても機能するよう、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 53 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者駐車場を設置して欲しい ・市民活動の際に子どもを預かってもらえる託児室を作って欲しい ・来館者の昼食・休憩の場、市民交流などの場となるラウンジを作って欲しい ・市民活動の際に使える研修室、会議室を作ってほしい ・和室を作ってほしい ・テーマを絞った図書コーナーを設置してほしい(横浜自然観察の森の図書コーナーのような) <p>子どもから大人まで、同じことに興味を持った人がそこに集い、世代を越えた輪が広がるのではないかと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設のリサイクルスペースを作ってほしい ・スポーツ振興に関する市の窓口を作ってほしい | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と頂いた市民の皆様からご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>研修室やリサイクルスペースなどの専用施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内外の交流スペース等の多様な利用形態一つとして、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用し</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | | <p>やすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>来館者の昼食・休憩の場、市民交流などの場となるラウンジや図書コーナーにつきましては、施設内外の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 54 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が自由に使える会議室の設置 ・子どもを預かってもらえる託児室の設置 ・利用者のための駐車場設置 <p>わたしたちは毎月一回、会の運営や子どもたちについての会議をしています。去年までは、江の島にある女性センターの託児を利用していましたが、残念ながらセンターは閉鎖してしまいました。現在は、鎌倉中央公園の管理棟の一室をお借りして会議を行い、子どもたちは、ここにこ会のOBの母たちに託児をお願いしています。</p> <p>しかしながら、託児スタッフの人数確保はむずかしく、会議室と託児場所が離れているため毎回バタバタしています。</p> <p>そのため、今後も安心して活動できるよう、新しい施設に市民が自由に使える会議室と、無料もしくは安価な託児室の設置を切望しています。</p> <p>また、雨天時など、子連れでは身動きが取れないことも多々ありますので、駐車場もあれば非常にありがたいです。</p> | <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 55 | <p>子どもの数が少ないから、子育てしにくい町になるのではなく、子どもの数が少ないからこそ、充実した支援が受けられるというのが、本来の姿なのではないでしょうか？</p> <p>子育て支援の活動に関わっていますが、鎌倉で満たされない部分は、他市まで行っている場合がよくあります。特に、玉縄地区の方は、藤沢市や横浜市に車で出かけた方が便利だといいます。買い物やレジャーならわかりますが、普段の「公園あそび」をするために、車で他市に向かうのは、寂しい限りです。</p> | <p>施設建築物の規模につきましては、施設建築物の高さを、隣接地の住居の高さと市道（バス通り）側の建物の高さを緩やかに結んだ線の中に収めること、また敷地周辺の緑の中に建物を収めることで、高さやボリュームをできる限り抑え、周辺環境との調和や、景観に配慮した施設といたします。</p> <p>多世代が利用する施設として、バリアフリー化に努めるとともに、子どもの目線にも配慮した人や環境にもやさしい施設としたいと考えております。</p> <p>本計画では、当該施設を「子ども子育て支援」</p> |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>「鎌倉に住む意味」イコール「鎌倉で子育てする喜び」になってほしい。「子育ての拠点」「子育て情報の発信基地」ができることで、鎌倉市になにも求めず外に出ていく方たちの、意識も変えることができるのではないかと？</p> <p>新たな施設には次のような機能を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 玉縄地区の景観が活かされた土地の活用 ② ベビーカー、車椅子、幼児やお年寄りが安心して通える通路や機能がある（歩道、スロープ、駐車場など） ③ 親子で集える場所 （乳幼児、子ども、中学生以上、それぞれが集い遊び学べる場所、時間） （親がゆったりと見守りができ、時にはおしゃべりや会議ができる場所） ④ 託児の機能（江ノ島女性センターが行っていた託児機能のようなもの） ⑤ 相談できる場所（子育て、教育、就活、障害、親も子も） ⑥ 鎌倉らしく、「高齢者と子どもと一緒に集える場所」（昔遊びなど通じての交流、相互の理解） | <p>の拠点の一つとして位置付けで行きたいと考えております。駅近傍という立地条件を活かし、地域のみならず、全市的な利用にも積極的に対応でき、子育て関連の情報を発信できる場所としてまいりたいと考えております。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>施設内の交流スペース、施設周辺や屋上の広場的空間では、子どもと高齢者等との多世代交流の場として多様な利用形態が可能となるよう、今後実施する施設設計等の中で引き続き検討を行います。</p> |
| 56 | <p>1、託児付き会議室</p> <p>鎌倉の子育ての特徴ともなっている自主保育は自主運営のため、月1回の母と保育者の会議が欠かせません。こどもたちの活動の様子を共有し、危険を感じるようなことへの対策や活動の充実、こどもの成長の確認などを行っています。</p> <p>昨年12月までは江の島の婦人総合センターにて会議室と無料託児を利用させて頂いておりましたが、閉鎖となってしまいました。</p> <p>現在中央公園の会議室をお借りしているものの、託児はボランティアの方をお願いして、会議場所とは離れた梶原こども会館で行っています。</p> <p>にこにこ会の他にも自主保育の団体がいくつもあり、同じような状況にあると聞いています。</p> <p>2、子育て支援センター</p> <p>一昨年閉鎖したレイウエルの支援センターは歩き始めるまでの乳幼児とその母にとって重要な居場所でした。小坂に移ると聞いていますが、大船駅周辺は、利用者が集まりやすく、大船駅に近い買い物な</p> | <p>子ども・子育て支援施設につきましては、行政計画の位置付けや市民ニーズ、立地の適性、複合化のメリット、関連計画との整合などを総合的に判断し、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>なお、子育て支援センターにつきましては、現在、策定を進めている鎌倉市公共施設再編計画において、岡本保育園の建替えに合わせ、子育て支援センター（玉縄地域新規）と複合化することとしていることから、現時点では導入を予定しておりません。</p> <p>屋内公園などの施設につきましても、現時点では導入を予定しておりませんが、施設建築物の周辺や屋上の広場的空間の多様な利用形態一つとし</p> |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>ども同時にしやすい)岡本二丁目にぜひ設置して頂きたいとおもいます。</p> <p>3、屋内公園 階段と大きな滑り台だけでもこどもたちは体を大きく動かすことができます。 雨の日や、夏の強い日射しを避けて遊べる場所を希望します。 踊場公園こどもログハウスのような遊具内容だとさらに楽しめます。 http://log.chiiki-support.jp/</p> <p>4、サークルなどが使える部屋 レイウエル閉鎖後、各種サークルの活動場所が少なくなっていました。 ぜひ確保して頂きたいと思います。</p> <p>5、駐車場</p> <p>6、明るいフリースペース 様々な世代が活動の合間に過ごせるスペースがあると嬉しいです。喫茶店のようなテーブルと椅子が5台+20脚程度。待ち合わせや囲碁、将棋をしたりというスペースで市民のふれあいができるかと思っています。</p> | <p>て、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> <p>駐車場につきましては、敷地条件からは平面的なスペースが限られており、敷地内に多くの駐車台数を確保することは難しい状況ですが、子どもを連れて来館される方など車利用の方にも利用しやすい施設となるように、できる限り多くの駐車・駐輪台数を確保していくことを今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> <p>明るいフリースペースにつきましては、施設内外の交流スペースの多様な利用形態一つとして、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> |
| 57 | <p>福祉の総合施設建設予定である事にとっても嬉しく、大変期待を持っています。</p> <p>準備、建設には色々問題もあり難しいとは思いますが鎌倉市民の健やかな生活実現の為、宜しくお願い致します。</p> <p>僭越ながら、より良い施設建設作りの参考にして頂けたらと連絡いたしました。</p> <p>私の地区には、レイウエル鎌倉がありました。東日本大震災の折り、老朽化もあり使用不可の状態になりました。鎌倉には芸術館など素晴らしい施設がありますが、利用料も高く、福祉活動されてる団体、健康促進や文化的活動されてる方々が場所について困っている現状があります。ホールとまでは行かずとも視聴覚室の様な(200人収容)部屋があると多種多様なイベントに活用できると思います。</p> <p>そして、福祉の展示スペースや活動場所ができれば、子ども達の見学、勉強の場にもなります。駅から近く、沢山の方々が利用しやすい点を有効活用される事を願います。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。このため、多くの人を収容するような施設につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設建築物の内外に交流機能の施設として、今後の計画推進の中で参考とさせていただきます。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | <p>各、方面から御意見あると思いますがご検討のほど宜しくお願い致します。</p> | |
| 58 | <p>1.会議室やフリースペースと併設した託児施設 我が子は青空自主保育（次世代育成きらきらプラン事業のひとつ）の活動に参加させて頂きました。月に一度、県立江ノ島女性センターの会議室と託児ルームを利用していました。昨年末江ノ島女性センター閉館に伴い、近隣に代わりなる施設がなく困っています。自主運営ですので話し合いを重ね年間の運営をしています。大人だけの大切な話し合いでした。</p> <p>2.小学生、中学生、高校生が集える場所 年齢が上がるにつれ遊び方や場所が変化していると感じます。興味がかわったり、体力がつかたり、青少年ならではの成長過程なんだと思います。それらを受け入れ、集える場が必要だと感じます。 世田谷区の羽根木プレーパークや川崎市の夢パークのような場所がイメージに合います。 市民の意見が活かされた施設になることを期待しております。</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>専用の会議室につきましては、現時点では導入を予定しておりませんが、施設内の認可保育所にお子様を一時的に預けて集まれるような機能を、今後実施する施設設計等の中で検討を行います。</p> <p>施設建築物の周辺や屋上の広場的空間を、多世代が集い、遊べて、交流できるような場とするなど施設の利用等につきましては、今後実施する施設設計等の中で引続き検討を行います。</p> |
| 59 | <p>こども～高齢者までの誰もが一緒に過ごせる場、そしてこども・ボランティアを含め、次世代の担い手の育成に大変賛同致します。</p> <p>こどもが自由な発想を持ち、自由に遊べる、既存の固定観念に縛られずに冒険できる場があることは将来の鎌倉にとって間違いなくプラスになると感じています。</p> <p>『子どもが自由に遊べる場』の建設に賛成致します。</p> <p>また、ご存知かもしれませんが、藤沢市では『小規模多機能型居宅介護』という介護のシステムを使った多世代交流の実現が可能となり、NHKをはじめ全国から注目されています。</p> <p>これからの日本において国策として小規模多機能はこの10年で800%増を目指しており、定期巡回24時間対応型訪問介護・看護とともに、未来の地域を担う2大支柱でもあります。</p> <p>運営者の運営方針によって左右される部分があり</p> | <p>導入機能につきましては、喫緊の必要性、立地の必然性、複合化・集約化による有効性の3つの基準と市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、「子ども・子育て支援機能」、「市民活動支援機能」、「交流機能」の3つを選定いたしました。</p> <p>子ども・子育て支援施設につきましては、一時預かりを含む認可保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターや教育支援施設の導入を予定しております。「小規模多機能型居宅介護」につきましては、現時点では導入を予定しておりません。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | <p>ますが地域づくりに主眼を置いた運営者が運営する小規模多機能型居宅介護を組み込む事でこのプロジェクトでの多世代交流が加速すると感じております。</p> <p>まずは小規模多機能を知って頂き、そしてその可能性を本プロジェクトに組み込んで頂けたら幸いです。</p> | |
| 60 | <p>去る1月29日（木）に、玉縄支所会議室において貴担当から玉縄自治町内会連合会理事会、玉縄地区社会福祉協議会に示された、岡本二丁目マンション跡地活用案に関する鎌倉市の基本的な考え方は、それまでの貴担当との意見交換会で提示した当連合会の見解・要望が大枠として充足されていると評価し、特に新たに追加要望すべき点はないことをお知らせします。</p> <p>従い、今後は可及的速やかにこの基本案に基づいた実施計画案をお示し頂ければ幸いに存じます。</p> | <p>今後は基本計画の方向性に沿って、総合的な視点を加味したうえで基本設計・実施設計へと計画熟度を高め、具体的な案をお示しできるよう進めてまいります。</p> |